

【平成29年度総括報告】

「公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会」として6年目を迎え、県域の聴覚障害者当事者団体として運動と事業を担いながらこの1年間活動を推進してきました。以下のとおり報告いたします。

【全国の運動】

一般財団法人全日本ろうあ連盟は、加盟団体と共に手話言語法制定運動を展開し、国に対して「手話言語法」（仮称）の早期制定を求めて現在も運動を継続しています。手話言語条例については、平成29年度も地方自治体に於いて次々と制定され、平成30年3月30日現在、22県1区136市町19町の計178の自治体で手話言語条例が制定されています。全国手話言語市区長会は439市区長の入会があり、手話言語法制定をめざすためにもさらに加入をよびかけています。「情報・コミュニケーション法」（仮称）の制定も課題として取り組みがされています。

旧優生保護法による障害者の強制不妊手術について宮城県在住の知的障害を持つ高齢女性が国に対して同意なしに強制不妊手術をさせたことに対し謝罪と補償を求める裁判を起こしたことをきっかけに各地で強制不妊手術の被害数が上っていること、全日本ろうあ連盟も聴覚障害者の強制不妊手術の被害について実態調査を始めることを表明しました。今後、連盟加盟団体を中心に被害の実態調査を始めることになります。

【兵庫の運動】

引き続き、現在の役員体制のもと、聴覚障害者が安心して暮らせる社会の実現に向けて引き続き運動と事業の推進に取り組んでいるところです。

「手話言語条例」制定に関しては、平成29年4月より加西市・加古川市・姫路市・西脇市・三田市・宝塚市・芦屋市で手話言語条例が施行しました。また、平成29年度中に市議会で手話言語条例を可決した市は、たつの市・尼崎市・赤穂市・南あわじ市・伊丹市・朝来市です。（尼崎市は議会可決後施行）兵庫県は23自治体（22市1町）で制定されており、全国的に見ても手話言語条例の制定が最も多い県であります。施行後の手話言語に係る施策を推進していくことも重要な課題です。今後も兵庫県及び未制定の市町に手話言語条例が制定されるよう県下各ろうあ協会、手話関係者等とともに、議会や行政に働きかけるとともに条例が施行されている市町に対して施策が広まるよう連携していきましょう。

29年度は兵庫県に於いて、年齢、性別、障害の有無、言語、文化等の違いに関わりなく、すべての人が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮することができることをめざしての検討が進み、30年度から「ユニバーサル社会づくり推進に関する条例」が施行します。また、ユニバーサル条例の情報・コミュニケーションを補完するための条例として議員提案による「障害者等による情報取得及び利用並びに意思疎通の手段の確保に関する条例」が3月議会で可決しました。これは障害者の情報取得や情報を利用すること、コミュニケーションに関する内容であり、県における手話通訳者や要約筆記者の養成や通訳者の拡充が盛り込まれています。当法人としても条例制定に関わった経過から、今後も手話による情報取得や手話通訳者の拡充を働きかけていきます。なお、兵庫県手話言語条例（仮称）の制定については、まだ実現されておらず、引き続き働きかけていきます。

会員拡大については昨年比6名増加の769名となりました。会員の減少にはさまざまな要因がありますが、社会不況による経済的な理由や人間関係、団体の必要性が見えないなどが挙げら

れます。会員数の後退は運動の後退につながるので、当法人と県下各ろうあ協会が連携しながら課題の克服に取り組みたいと思います。

第23回夏季デフリンピック競技大会（トルコ・サムスン）では兵庫の安積選手と畠選手が女子バレーボールで活躍され、兵庫県スポーツ賞（特別選手賞）を受賞されています。

ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業では、第19期研修生のカオクン・タンティピシクン（タイ）を受け入れ、協会の運営する各事業所において研修を実施しました。

日本聴力障害新聞の取り組みは、目標（読者数 1,006）のところ 516 で未達成ですが、少しずつ購読を増やしています。季刊 MIMI の購読も併せて今後とも拡大にご協力をお願いします。

【協会の事業】

公益社団法人に移行して6年目を迎えました。兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどいをはじめ各種行事を実施しました。近畿レベルの行事を開いたこと。特に第67回近畿ろうあ者大会は、兵庫の特徴を生かした内容で近畿各府県の条例制定市長によるパネルディスカッション「各市における手話言語条例の特徴及び今後の抱負」をはじめ、3名の聞こえない議員からのメッセージ等、近畿各府県から行政、議員を含め895名の参加がありました。

大会実施について三田聴覚障害者協会及び手話関係者の協力をいただき、大会を無事に終えることができた事に対し改めて御礼申し上げます。

兵庫県立聴覚障害者情報センター、たじま聴覚障害者センター、はりまふくろうの家、にしのみや聴覚障害者センター、たつのころろうあハウス、たつのご工房、ひょうご聴覚障害者介護支援センターの運営事業に関しても行政機関をはじめ関係機関、地域ろうあ協会等と連携を図りながら、円滑な運営に努めています。社会福祉の現状は厳しいものがあり、今後も運営において一人ひとりを大切にしながらさまざまな課題の解消に向けて取り組んでいきます。

【今後の取り組み】

協会の運動や事業の指針となっている平成25年に行った「聴覚障害者の実態と生活ニーズ実態調査」の結果では、地域・家族・教育・医療・労働など、さまざまな場面で聴覚障害者の貧困・孤立・差別が浮き彫りになっています。この問題を解消するためには、実態調査の「今後の提言」に基づき、地域の聴覚障害者総合福祉センター（仮称）や障害児通所支援等の社会資源の創出を含めて取り組んで行く必要があります。

たじま聴覚障害者センターでは、平成27年6月より、児童福祉法の児童発達支援事業、放課後等デイサービスを利用して豊岡市内に在住する障害児に対する日常生活における基本的動作指導、集団生活への適応訓練、生活向上のために必要な支援を実施しています。

神戸市においても神戸ろうあハウスの移転を含む「神戸市聴覚障害者総合福祉センター」（仮称）の設置をめざして、取り組みを進めています。

聴覚障害者のための社会資源は、まだまだ少ないのが実状です。手話言語条例も含めて私たちは、地域の聴覚障害者が安心して手話で豊かなコミュニケーションができる事業所などの拠点を創出していく必要があります。

今後とも聴覚障害者に対する理解を広め、社会参加を促進し、聴覚障害者及び手話を学ぶ者をはじめ、兵庫県民すべてに聴覚障害関連及び福祉の増進に関する事業を行い、社会福祉の発展に寄与してまいりますので引き続きご支援ご協力をお願いします。

公一 聴覚障害者の福祉向上のための事業

(概要)

聴覚障害者の生活支援や文化的活動および手話通訳者等の養成・派遣、一般企業や障害者事業所を利用されることが困難な障害者に就労、生きがいの場の提供、調査研究などを通じて聴覚障害者の福祉向上を図っている。

1. 手話通訳者などの講師養成事業

県及び市町村レベルの手話奉仕員・手話通訳者養成講習会の指導者を養成する。

(1) 手話奉仕員養成事業講師講習会

ア. 開催期間：入門編 平成 29 年 6 月 20 日（火）～10 月 17 日（火）全 15 回

イ. 開催場所：神戸市立総合福祉センター

ウ. 受講人数：37 名（ろう者 名、聞こえる人 名） 【修了者 36 名】

(2) 手話通訳者養成事業講師研修会

ア. 開催期間：手話通訳Ⅰ 平成 30 年 1 月 16 日（火）～3 月 20 日（火）全 10 回

イ. 開催場所：神戸市立総合福祉センター

ウ. 受講人数：10 名（ろう者 3 名、聞こえる人 7 名） 【修了者 10 名】

2. 手話学習会

(1) 手話対策部学習会

県内の手話対策部長や関係者が集い、学習や情報・意見交換を行うと共に今後の運動に結びつけていく。

ア. 開催日時：平成 30 年 1 月 6 日（土）

イ. 開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

ウ. 参加人数：5 名

エ. 情報意見交換「兵庫県内の手話通訳派遣制度、手話通訳者統一試験、手話検定について」

3. 講師派遣事業

手話講座を主催している団体（学校、手話サークル等）からの要請に応じて、講師を派遣。

(1) 内容

手話奉仕員養成・通訳者養成講座（実技、講義）、手話通訳者現任研修会、手話言語法・条例、兵庫県の災害と防災について、聴覚障害者支援事業について、ろうあ運動、相談支援研修会など

(2) 回数 190 件／997 名

・小学校 1 件／1 名、中学校 1 件／1 名、短期大学・大学 5 件／52 名、奉仕員養成講座 実技 3 件／80 名・講義 23 件／46 名、レベルアップ講座 8 件／61 名、通訳者養成講座 実技 5 件／23 8 名・講義 5 件／14 名、試験対策講座 7 件／28 名、地域手話通訳者登録試験 1 件／1 名、現任研修 10 件／31 名、手話講師研修 3 件／72 名、学習会 11 件／41 名、研修会 10 件／16 名、講演・シンポジウム 28 件／29 名、要約筆記者養成講座 講義 6 件／7 名、中途失聴・難聴者関係 4 件／9 名、はじめての手話入門 25 件／103 名、若者向け手話講座 32 件／165 名、その他（絵本読み聞かせ、イベント審査員等）2 件／2 名

(3) 講師

当法人理事、認定手話通訳者、登録講師

(4) 講師研修会

ア. 開催日時：平成30年1月6日（土）

イ. 開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

ウ. 参加人数：51名

エ. テーマ「手話や聞こえないことを広めるために」

4. 手話通訳認定事業

(1) 手話通訳者派遣事業の円滑な運営を図るため、実技及び面接などによる選考を行い、合格した手話通訳者を当協会の認定手話通訳者として登録する。

ア. 開催日時：平成30年2月24日（土）9時半～12時半

イ. 開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

ウ. 受験者数：10名

エ. 合格者数：3名

5. 手話通訳者派遣事業

(1) 認定手話通訳者派遣

ア. 派遣回数 562件 / 1144名

(2) 認定手話通訳者研修会

第1回研修会

- ・日 時 平成29年5月21日（土）
- ・場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
- ・出席者 25名
- ・内 容 平成29年度、兵聴協派遣事業報告・反省
平成30年度兵聴協活動方針・事業計画について

第2回研修会

- ・日 時 平成29年7月29日（土）
- ・場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
- ・出席者 11名
- ・内 容 「聞き取り表現通訳技術」
- ・講 師 池上睦氏
公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会
認定手話通訳者・手話通訳士

第3回研修会

- ・日 時 平成29年9月2日（土）
- ・場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
- ・出席者 9名
- ・内 容 「聞き取り表現技術通訳 パート2」
- ・講 師 池上睦氏
公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

第4回研修会

- ・日 時 平成29年12月17日（日）
- ・場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
- ・出席者 10名
- ・内 容 「手話通訳の皆さんへ」
- ・講 師 足立達哉氏
公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会理事

第5回研修会

- ・日 時 平成30年3月17日（土）
- ・場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
- ・出席者 4名
- ・内 容 「意思疎通支援に関わる人の健康学習会」
- ・講 師 米野 規子氏
一般社団法人全国手話通訳問題研究会理事

6. ろうあ兵庫

平成29年度の「ろうあ兵庫」編集活動においては、兵聴協として重点的に取り組んでいる事項についてトップページに掲載しました。各部の記事については定期的に情報を掲載してきました。掲載については、各部ごとに半ページに縮小し、空白・無駄を省き、読みやすいようにフォントの統一などを図ってきました。また、編集の体制を整えました。たじま聴覚障害者センターの岡職員、ひょうご聴覚障害者介護支援センターの吉岡職員にも編集作業に加わって頂き、発行日である毎月の1日に読者にお届けできるよう努めてまいりました。今後とも、聴覚障害者福祉の向上及び啓発のため、ろうあ運動関係、各事業を重点に掲載してまいりたいと思います。

主な内容

- ・4月号 第445号：聴覚障害者の就労や生活問題に考える 等 （16頁）
- ・5月号 第446号：手話通訳者の養成について考える 等 （12頁）
- ・6月号 第447号：日本手話言語法案（修正案）の意見募集始まる 等 （12頁）
- ・7月号 第448号：第65回全国ろうあ者大会が福岡にて開催される！！ 等 （14頁）
- ・8月号 第449号：第23回夏季デフリンピック 兵庫県知事に表敬訪問 等 （16頁）
- ・9月号 第450号：感動と勇気をありがとう！第23回夏季デフリンピック
トルコ・サムスンより 等 （12頁）
- ・10月号 第451号：第38回近畿ろうあ高齢者大会&
第9回近畿ろうあ高齢者スポーツ大会が開催 等 （12頁）
- ・11月号 第452号：第67回近畿ろうあ者大会が盛大に開催！！ 等 （14頁）
- ・12月号 第453号：県下のろう者、手話関係者が学びあい 等 （16頁）
- ・1月号 第454号：新年のあいさつ、各協会祝賀広告 等 （14頁）
- ・2月号 第455号：第44回兵庫県ろうあ者新年大会兼
成人祝いのつどいが高砂市にて開催 等 （14頁）
- ・3月号 第456号：関西初！あかし市民広場に手話フォンを設置！ 等 （14頁）

7. 調査研究事業

(1) 福祉に関する取り組みの報告

ア. 全国ろう重複障害者施設連絡協議会（2017 年度厚労省要望書）について

障害福祉サービス等改定検討チームによる「平成30年度障害福祉サービスに関する意見等」の取組に伴い、平成29年12月19日付で、厚生労働省社会・援護局障害保険福祉部障害福祉課長宛に提出した「聴覚・ろう重複障害児・者の福祉施策に関する要望」に関する要望について参考資料を活用していただくために配布しました。

イ. 聴覚障害者の差別事例と合理的配慮事例アンケート（一般財団法人全日本ろうあ連盟）および兵庫県41市町の障害者差別解消支援地域協議会（聴覚）に関する調査、平成29年度兵庫県における身体障害者相談員に関する調査について各ろうあ協会福祉対策部担当及びろう者相談員または身障者相談員を受けていることに関する調査を実施し、各市町の身体障害者相談員が配置された実態について各市町から回答を集約し、表にまとめて各協会に配布しました。

(2) 手話通訳派遣事業の調査報告

障害者総合支援法における県内41市町の手話通訳派遣事業の実施状況及び手話奉仕員養成事業の実施状況を分析し、それぞれの事業の現状や問題点・課題を含めた評価を各協会に配布しました。

(3) 労働の調査報告

平成29年度の調査研修の内容は、第31回全国ろうあ者相談員研修会・第22回全国職業安定所手話協力員等研修会兼ろうあ者労働問題フォーラムにおいて、事前アンケートからピックアップした課題事例と討論の方向性です。地域で労働に関する取り組み、手話協力員の役割等の問題点、課題点を今後の活動の取り組み報告、そして、2016年4月より「障害者差別解消法」及び「改正障害者雇用促進法」が施行して2年になりました。聴覚障害者の暮らしはよくなっているのか？皆さまの周りはどうなのか？改めて考え、この法律を行政機関や事業者に対し、障害者に対する不当な差別の禁止や合理的配慮について定められています。現に聞こえないことを理由に差別を受けたり、情報コミュニケーションの配慮をしてもらえないことが普段の生活の場、就労の場等で起こっています。この法律の内容を学びながら、法のポイントや聴覚障害者の合理的配慮の具体的例を行政機関や事業者等に働きかけていくことが求められています。皆さまと共に問題・課題に対し取り組んでいけるように各協会に配布しました。

8. ろうあ相談員等研修事業(生活問題対策事業)

(1) 福祉対策部会議

第1回福祉対策部会議

- ・日 時：平成29年5月13日（土）午後1時半～3時半
- ・場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 交流サロン室
- ・出席者：8名
- ・報告内容：福祉対策部からの連絡、平成29年度身体障害者相談員設置に関する調査について、各地域の情報交換及びに相談に関する意見交換、その他

緊急福祉対策部会議

目的は、淡路ふくろうの郷の入居待機者が少数となっている。介護・健康で困っていながらも入居申込みができない状態です。困っている方を発見にゆく活動が求められている。

- ・日 時：2017年8月24日（水）午後7時～9時

- ・会 場：神戸市障害者福祉センター4階 会議室C
- ・内 容：淡路ふくろうの郷の入居者の掘り起こしについて
神戸ろうあハウス・デイサービスの利用者の掘り起こしについて
ひょうご介護支援センター事業の状況について
説明担当：淡路ふくろうの郷職員、介護支援センター職員

- ・出席者：20名

第2回福祉対策部会議

- ・日 時：平成29年11月4日（土）午後1時半～3時半
- ・場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 交流室
- ・出席者：10名
- ・報告内容：福祉対策部からの連絡、各地域の情報交換及びに相談に関する意見交換、各市町の身体障害者相談員設置についての情報提供等、その他

第3回福祉対策部会議

- ・日 時：平成30年3月17日（土）午後1時半～3時半
- ・場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 交流サロン室
- ・出席者：5名
- ・報告内容：福祉対策部からの連絡、平成30年度の計画について
平成30年度各地域ろうあ協会福祉対策部担当及び各市町身体障害者相談員設置に関する件、各地域の情報交換及びに相談に関する意見交換、その他

9. 手話普及啓発事業

（1）若者対象手話講座

県内の高等学校、大学に在籍する学生をはじめ、聴覚障害者への理解促進と手話の普及に向け、講座を開催する。

回数：100回（30カ所） 派遣人数：163名

内容：講義（聴覚障害について、聞こえない人の暮らしについて等）

手話講座、手話検定試験に向けた学習

（2）講師スキルアップ講座

講師のスキルアップを図るための講座を開催する。

ア. 手話通訳者養成講座（講義）

平成29年12月23日（金・祝）「要約のポイント」 講師：根岸亜紀氏

イ. 手話通訳者養成講座（通訳Ⅲ）

期間：平成29年12月6日～平成30年3月21日（水） 全17回

10. たじま聴覚障害者センター

（1）就労継続支援B型事業

平成29年度は、従来の通り障害者総合支援法のうち就労継続支援B型事業を利用して但馬地域に在住する障害者のうち、主に聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と請負作業、施設外就労等の就労の場を提供し、その利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を実施しました。

ア. 日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く） 午前9時～午後5時

イ. 場所

豊岡市城南町23番6号 豊岡健康福祉センター2階

ウ. 定員・利用実績

19名・延べ3,748名

エ. 作業内容

- ・請負作業：ポリちぎり作業、自動車部品ゴムバリちぎり作業、銅線剥離作業
- ・自主作業：アルミ缶、段ボール、新聞紙回収・自主製品製作、販売

オ. その他

創作活動、学習会、手話カフェ（月1回）、医師による健康診断（年1回）、看護師による健康相談（月1回）、歯科衛生士による口腔衛生指導（月1回）、健康まちづくり指導員による体操教室（月2回）を実施しました。

（2）相談支援事業

平成29年度は、従来の通り豊岡市内在住の障害者、障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、利用等の立場に立った適切な指定計画相談支援事業を実施しました。

ア. 日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く） 午前9時～午後5時

イ. 場所

豊岡市城南町23番6号 豊岡健康福祉センター2階

ウ. 件数

- ・インテーク、アセスメント 128件
- ・モニタリング 394件
- ・基本相談 1件

（3）児童通所支援事業

児童福祉法のうち、児童発達支援事業、放課後等デイサービスを利用して豊岡市内に在住する障害児が日常生活における基本的動作指導、集団生活への適応訓練、生活向上のために必要な支援など実施しました。

ア. 日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く） 午前10時～午後5時

イ. 場所

豊岡市城南町23番6号 豊岡健康福祉センター2階

ウ. 定員・利用実績

10名・延べ161名（児童発達支援）、延べ344名（放課後等デイサービス）

（4）意思疎通支援事業

平成29年度は、従来の通り但馬地域における聴覚障害者の生活とその福祉の向上のため、手話通訳者等養成および要約筆記者派遣事業を受託して実施しました。

ア. 豊岡市手話奉仕員養成事業（入門課程のみ・全24回）

- ・日程：7月22日～12月23日
- ・場所：豊岡健康福祉センター

- ・受講者数：9名

イ. 養父市朝来市合同手話奉仕員養成事業

- ・日程：5月31日～11月29日（基礎課程のみ・全25回）
- ・場所：和田山公民館
- ・受講者数：13名

ウ. 香美町手話奉仕員養成事業

- ・日程：6月16日～11月24日（入門課程のみ・全21回）
- ・場所：香住区中央公民館、香住文化会館
- ・受講者数：14名

エ. 新温泉町手話奉仕員養成事業

- ・日程：5月18日～11月16日（基礎課程のみ・全25回）
- ・場所：新温泉町民センター
- ・受講者数：7名

オ. 豊岡市要約筆記者派遣事業

- ・派遣実績：14件

カ. 豊岡市登録手話通訳者現任研修

- ・日程：7月28日、9月15日、10月13日、11月17日、12月8日（全5回）
- ・場所：豊岡健康福祉センター
- ・受講者数：延べ19名

11. はりまふくろうの家

平成29年度は、障害者総合支援法のうち就労継続支援B型事業を利用して、姫路市近郊に在住する聴覚障害者のうち、引きこもりや、就職が困難な人たちに自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように通所による就労の機会を提供し、下請作業や生活に関する情報や学習会等の活動を通じて、その知識及び能力の向上のための訓練等を行うとともに、A型就労へ移行に向けて支援を実施しました。

(1) 日時

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時30分

(2) 場所

姫路市東延末2-51 中川ビル1F 事業所内・外

(3) 定員・利用実績

18名・延べ1,662名

(4) 作業内容

ア. 請負作業：箸入れ、車部品バリ取り、素麺の箱折り、カレンダー組立て作業等

イ. 自主作業：おにぎり・お弁当、畑作業

月曜日と金曜日はA型事業所の利用者さん向けにお弁当の定期配達、木曜日は(3回/月)市役所ロビーで姫路作業所連絡会の加盟事業所としてハートフルショップで販売しており70食程がほぼ完売しています。また、兵庫県聴覚障害者文化祭や姫路作業所連絡会主催の「ひめされんまつり」ではバラ寿司や炊き込みご飯等を出店販売しました。地域の子供会の行事では、おにぎり注文が恒例となっています。姫路福祉保育専門学校からの弁当注文は、ほぼ毎日入るようになっています。

こわれ奉天（かりんとう）に加え、小袋の菓子を新たに追加仕入れし、販売を実施しました。

（５）その他

家庭の事情や自己の都合退所が２名、Ａ型作業所へ移行が１名あり、大きな収入減になりました。また、６５歳問題で６５歳以上の利用者の通所日数の提供日数が減らされたことも収入減につながっています。

おにぎり・お弁当事業は物価高騰の為、購入する材料費を抑え、畑作業で収穫した野菜を使用することで節約をしました。野菜の販売もしました。市役所ロビー販売を月３回、すこやかセンター販売を月１回で販売することができました。

12. にしのみや聴覚障害者センター

障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターとして、２０１４年４月に開所。平成２９年度は、西宮市在住の聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むため、日常生活に関する学習や悩み事相談、その他の機会を提供しました。また、当事業所に通う仲間たちが共通するコミュニケーションを通して、共に学び会い、支え合う場として活動しました。

（１）日時

月曜日～金曜日 １０時～１６時

（２）場所

西宮市馬場町５－７ メゾン・カトー２０１号室 事務所内

（３）定員・利用実績

１０名・延べ１６８５名

（４）作業内容

請負作業：ハートボールプロジェクト、封入作業 他

（５）その他

ア. 学習会の取り組み

兵庫県手話サークル連絡会より講師を派遣してもらい、手話サークルへ向けてできることを今一度学びました。また、水彩画教室を開催。その作品を、西宮市障害者福祉作品展（平成３０年２月）に出品しました。

イ. 手話サロンの取り組み

市内の手話サークル会員へ声を掛け、手話サロンを年１３回開催。１月に新年会をかねて開催した際は、西宮市総合福祉センターの障害者スポーツ事業係の方にご協力いただいて、ボッチャ大会を開催。いつもとは違った雰囲気、大いに盛り上がりました。また、手話サークルの後に立ち寄れるように日程を調整することで、毎回多くの方に参加いただいた。

13. 尼崎聴覚障害者センター

（１）たつのころあハウス（就労継続支援Ｂ型事業）

主にろう重複障害者や、就労・生活に困難を抱える聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、請負作業、自主製品、施設外就労等の就労の場を提供し、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を行います。「できないことをできるようにする」をモットーに、ひとりひとりの障害やコミ

コミュニケーション方法にあわせた支援を行っています。40代・50代の仲間の保護者が高齢になり、病院等の付添いが出来なくなりつつあり、仲間一人で通院はコミュニケーション・病気や薬の理解等困難なので職員が付添うことが増えています。手話言語法が制定され、これから広まりつつある中で、現状は地域資源が乏しく親が高齢になっても障害の重い仲間の世話をしているという状況があります。利用するよう行政から言われている相談支援も相談員で手話ができる人はほとんどなく、また聴覚障害者の生活を知り支援の知識を持っている人もほとんどいません。利用に際し職員が間に入り通訳をしながら聴覚障害者の生活を理解していただけるよう話をし関係を築きつつ、啓発に繋がるようにしています。

ア. 日時

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（仲間の作業は10時～15時半）
土・日・祝の開所日あり（不定期）

イ. 場所

尼崎市立花町4-8-12

ウ. 定員・利用実績

20名・延べ4004名

エ. 作業内容

- ・請負作業：紙袋作業、ラベル貼り作業・チラシ作業・古本ラベル剥がし作業
- ・自主作業：アルミ缶、段ボール、新聞紙回収・自主製品製作（ポップ・リール・ムズプレー）販売
- ・施設外：（情報センター掃除・ポスティング・草抜き）
- ・体験実習：県立尼崎北高校、姫路聴覚特別支援学校、神戸聴覚特別支援学校教員・生徒、
ダスキン障害者研修

オ. その他

作業内容は大きな変化はなく、高齢化する仲間に合わせ室内での作業を中心に進めています。うまく作業を調整しながら少しでも高い工賃を得られるよう工夫していかねばなりません。

精神的に不安定な仲間の支援について、たつのこととして今までに対応経験が少なく、職員も勉強不足な面があり幅広く障害や対応方法を学んでいかないと考えています。

（2）たつのこ工房（地域活動支援センター）

うどん作りやお店の運営を通して、聴覚障害者の社会参加を目指し、接客を通し地域の方々や、手話サークルの方々と触れ合い、マナー等を学んできました。レクリエーションや社会見学を行い、情報提供や知識を深める学習・経験を提供しました。また利用者の高齢化に伴い、健康管理を行っています。

ア. 日時

月曜日～金曜日 10時～16時

イ. 場所

尼崎市立花町2-6-23

ウ. 定員・利用実績

13名・延べ1389名

エ. 作業内容

請負作業：うどん製造・販売／ダッタンそば茶袋詰め入れ／乾燥糸こんにゃく袋詰め入れ
糸こんにゃく麺・販売（現在は中止）
施設外作業：ポスティング等

オ. その他

- 市役所の出前講座等を利用し、日常生活に関する学習会を開催。マイナンバーについての学習、防災についての学習（地域の防災訓練に参加し聴覚障害者への配慮を啓発）
- 利用者の持病や薬の飲み方、医師の説明に対して分かり易く話して、理解を深めて貰う。
- 利用者の要望に合わせ、無理のない範囲で出掛けて体験したり、手話サークルの会員と一緒に調理をして交流した。
- 簡単に作れる手芸細工や、水彩画などを楽しむと同時に、手指や脳を鍛え認知症予防に繋がるようにした。利用者の得意な料理を教えて貰い、材料の買出しから調理までみんなで一緒に行い、お互いの親睦を深め、仲間としての意識を高めた。

公一 兵庫県立聴覚障害者情報センター運営事業

身体障害者福祉法第34条に定める聴覚障害者情報提供施設の機能を有し、聴覚障害者の社会参加と自立を援助し、生活・文化の向上と福祉の増進を図ることを目的に運営を行った。

設置：兵庫県・神戸市

運営（指定管理者）：公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

設置場所：神戸市灘区岸地通1-1-1 神戸市立灘区民ホール2F

開館日及び時間 月、火、水、金、土 午前9時～午後6時

1. 意思疎通支援事業

（1）手話通訳者養成研修事業

ア. 手話通訳者養成事業

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を持ち、兵庫県認定手話通訳者を目指す人を対象に養成講座を実施した。

・通訳Ⅰ

日時：7月11日（木）～2月27日（木）全31回

受講人数：16名（うち修了者13名）

開催地：赤穂市

・通訳Ⅱ

日時：6月15日（火）～3月1日（火）全34回

受講人数：11名（うち修了者11名）

開催地：加古川市

イ. 全国手話通訳者統一試験事業

・開催日：平成29（2017）年12月2日（土）

合格発表：平成30（2018）年3月16日（金）

会場：兵庫県立のじぎく会館

受験者数：132名

合格者数：19名

・受験者フォローアップ研修会

開催日：10月28日（土）29日（日）10:00～16:30

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

受講者数：37名

内容：手話の要約、場面通訳

・手話通訳者全国統一試験対策講座

開催日：11月21日（火）10:00～16:00

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

受講者数：37名

内容：手話の要約

（2）要約筆記者養成研修事業

ア. 要約筆記者養成事業

- 要約筆記者養成講座手書きコース（後期）パソコンコース（後期）
日時：4月19日（水）～11月15日（水）全16回
受講人数：19名（うち修了者16名）
会場：加古川市
- 要約筆記者養成講座手書きコース・パソコンコース（前期）
日時：10月28日（土）～3月24日（土）全22回
受講人数：13名
会場：豊岡市
- 要約筆記フォローアップ講座（手書きコース・パソコンコース）
日時：合同1月20日（土）、手書き1月27日（土）、パソコン2月3日（土）
受講人数：48名
会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
- 要約筆記者指導者養成研修（聴力障害者情報文化センター主催分）
日時：7月7日～7月9日
9月8日～9月10日
11月17日～11月19日 全9日間
受講人数：1名
会場：全国手話研修センター

イ. 全国統一試験要約筆記者認定試験

日時：平成30年3月20日（火）
会場：兵庫県立のじぎく会館
受験者数：80名（手書きのみ28名、PCのみ30名、両方22名）

(3) 手話通訳者派遣事業

ア. 登録状況

登録状況(手話通訳) 平成29年3月31日現在
342名（A登録53名、B登録110名、C登録179名）

イ. 研修会

初任者研修

日時：5月21日（土）10:00～12:00
受講者数：14名
会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内容：平成29年度手話通訳者全国統一試験の合格者15名を対象。
情報センターの概要、ひょうご通訳センターの運営
派遣事業の概要、報告書の書き方等

技術研修

日時：7月29日（土）13:30～16:00
受講者数：23名
会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内容：「読み取り通訳（演習）」

- ・日時：9月2日（土）13:30～16:00

受講者数：27名

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内容：「読み取り通訳（演習）パート2」

専門研修

- ・日時：12月17日（日）13:30～16:00

受講者数：29名

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内容：「手話通訳のみなさんへ」

- ・日時：3月17日（土）10:00～17:00

受講者数：39名

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内容：手話通訳者・要約筆記者合同研修会

「～活き活きと活躍するために～」

ウ. 兵庫県公費派遣事業

手話通訳者派遣事業（県公費）

年間：61件

総派遣人数：159名

エ. 市町村公費派遣事業

年間：665件

総派遣人数：889名

オ. 兵庫県主催イベントにおける聴覚障害者への情報配慮事業

年間：81件

総派遣人数：209名

（4）要約筆記者派遣事業

ア. 登録状況

120名（平成30年3月31日現在）

イ. 現任研修会

- ・日時：5月28日（日）

受講者数：50名

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内容：派遣事業について、機材設営実習、ディスカッション

- ・日時：7月8日（土）

受講者数：午前9名・午後8名

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内容：技術研修「チームワーク」午前：PC 午後：手書き

受講者数：午前16名・午後20名

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内容：技術研修「チームワーク」午前：PC 午後：手書き

- ・日時：8月19日（土）

受講者数：午前23名・午後21名

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内容：午前 講義「兵庫県の難聴者運動の歩み」

午後 グループディスカッション

- ・日時：10月3日（火）

受講者数：21名

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内容：技術研修「何を伝えるか～要約筆記はその場で役立つ通訳～」

- ・日時：3月17日（土）午前

受講者数：28名

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内容：「要約筆記の利用者として思うこと」

- ・日時：3月17日（土）午後

受講者数：10名

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内容：手話通訳者・要約筆記者合同研修会

ウ. 兵庫県公費派遣

年間：106件

総派遣人数：333名

エ. 市町村公費広域派遣

年間：134件

総派遣人数：277名

オ. 兵庫県主催イベントにおける聴覚障害者への情報配慮事業にかかる派遣調整

年間：34件

総派遣人数：125名

(5) けいわん健診

県下でコミュニケーション支援事業に関わる設置手話通訳者、派遣事業の登録手話通訳者、要約筆記者、盲ろう通訳・介助員および聴覚障害者福祉施設で働く職員を対象にけいわん検診を実施した。

ア. けいわん検診実施状況

神戸会場 兵庫県立聴覚障害者情報センター

8月29日（火） 9:30～16:00 受診者 37名

9月 5日（火） 9:30～16:00 受診者 31名

西宮会場 西宮市総合福祉センター

9月 7日（木） 9:30～12:00 受診者 18名

高砂会場 高砂市ユーアイ福祉交流センター

9月21日（木） 11:00～16:00 受診者 42名

検診結果は次の通り

・判定結果

A：健常期 48名 B1：疲労期 61名 B2：初期 17名

B3：顕性期 1名 C：重傷 1名 ※棄権者 1名 合計 128名

イ. 手話通訳者と要約筆記者・聴覚障害者の健康を考える学習会の開催

受診結果については各市町、事業所の所属長、個人に通知し、学習会への参加を呼びかけた。

日 時：平成30年3月17日（土）13:30～16:00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

テーマ：「意思疎通支援に関わる人の健康学習会」

兵通研&兵庫通訳センター登録通訳者・要約筆記者合同研修会

～生き活きと活躍するために！～

講 師：米野 規子氏 一般社団法人全国手話通訳問題研究会理事

参加者：39名

(6) 各担当者会議、研修会

ア. コーディネーター研修会（手話通訳、要約筆記合同）

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者及び手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターを対象に案内し、手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターの資質の向上を目的に研修会を開催した。

日 時：11月17日（金）13:30～16:00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内 容：「派遣コーディネーターのスーパーバイザーとしての役割を学ぶ」

講 師：岩谷 誠司氏

向日市健康福祉部障がい者支援課 専任手話通訳者

参加者：25名

イ. 意思疎通支援業務担当者会議（手話通訳、要約筆記合同）

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者と設置手話通訳者を対象に案内し、各市町への情報提供や提案および情報交換をすることにより各市町における同事業の充実と均一化を図ることを目的に次のとおり開催した。

日 時：9月12日（火）13:30～16:30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内 容：平成29年度派遣事業実態調査報告（手話通訳・要約筆記）

「意思疎通支援事業担当者の健康問題と身分保障」

講師：一般社団法人全国手話通訳問題研究会理事 米野 規子氏

参加者：48名（1県・28市町・3団体）

ウ. 設置手話通訳者会議

県下各市町、社会福祉協議会、職業安定所で手話通訳者として業務をしている者を対象に設置手話通訳者会議を開催した。

・第1回設置手話通訳者会議

日 時：5月19日（金）13:30～16:00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内 容：「兵庫県立聴覚障害者情報センターの事業について ～事業報告と事業計画～」

「意思疎通支援事業に関する近況報告と情報交換」

新年度設置手話通訳者の紹介（主席者自己紹介）

「意思疎通支援事業実施モデル要綱」に関する、要綱改正の報告

参加者：34名（1県、23市、2職安）

・第2回設置手話通訳者会議

日 時：7月21日（金）13:30～16:00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内 容：「手話言語条例施行市町の施策実施状況について」

「改正障害者雇用促進法施行後の状況について」

・施行市町・ハローワークの報告

参加者：33名（1県、21市、4職安、1団体）

エ. 要約筆記コーディネーター懇談会

平成29年度は実施なし

2. 相談支援事業

（1）ろうあ者・難聴者相談

ア. 年間相談件数：58件（移動相談も含む）

イ. 相談内容

- ・悩みや不安の軽減（話をきいてもらいたい）、金銭トラブル
- ・人間関係、制度利用について、
- ・制度内容の説明
- ・子どもが自由に表現できるように
- ・子どもの教育、進路について

（2）聞こえの相談

ア. 年間相談件数：217件

イ. 相談内容

- ・きこえ、補聴器相談（聴力検査、疾患、補聴器適応・申請、FM補聴器、人工内耳について など）
- ・福祉機器の相談（高齢に伴う聴覚補償、会社の会議における聴覚補償 など）
- ・コミュニケーション（職場内、親子間、発音指導 など）
- ・生活相談（軽中度難聴者の求職、福祉制度、日中活動 など）
- ・子どもの難聴について（難聴発覚後の療育、発音指導、学習支援、進路、補聴器、情報補償など）
- ・関係機関からの相談（難聴児者のケース相談、難聴者対象の事業実施について）
- ・弱視難聴者からの生活相談、補聴器の相談など
- ・企業から高齢難聴者対象の機器開発について

（3）こころの相談

ア. 年間相談件数：77件

イ. 相談内容

- ・発達障害（疑いも含める）、自分の親、子どもとの関係（コミュニケーションなど）
- ・悩みや不安の解消
- ・職場における人間関係（周囲の理解やコミュニケーションなど）
- ・たじま聴覚障害者センターでの、放課後等デイサービスにおけるスーパーバイザー（助言者）利用されている子どものアセスメントや職員への助言
- ・就労支援事業所職員（姫路）から利用者に関する相談

3. 中途失聴者難聴者コミュニケーション訓練事業

・日時：5月13日、20日、27（土）全3回

内容：読話

講師：岡恵子氏（斎藤奈奈氏）

会場（地域）：兵庫県立聴覚障害者情報センター（神戸市）

参加者数：14名（延べ38名）

- 日時：6月3日、10日、17日（土）全3回
 内容：手話
 講師：北村明子氏
 会場（地域）：兵庫県立聴覚障害者情報センター（神戸市）
 参加者数：15名（延べ38名）
- 日時：6月18日、25日（日）全2回
 内容：読話
 講師：岡恵子氏
 会場（地域）：尼崎市身体障害者福祉センター（尼崎市）
 参加者数：14名（延べ24名）
- 日時：7月9日、16日、30日、8月6日（日）全4回
 内容：手話
 講師：阪倉智永子氏、井筒玲子氏
 会場（地域）：尼崎市身体障害者福祉センター（尼崎市）
 参加者数：13名（延べ45名）
- 日時：6月10日、24日、7月8日（土）
 内容：手話
 講師：庄司美絵氏
 会場（地域）：西宮市中央公民館（西宮市）
 参加者数：6名（延べ18名）
- 日時：9月9日、16日（土）
 内容：読話
 講師：櫻井勝央氏
 会場（地域）：伊丹市立障害者福祉センター
 参加者数：9名（延べ18名）
- 日時：9月30日、10月7日、14日（土）
 内容：手話
 講師：渥美美雪氏
 会場（地域）：伊丹市立障害者福祉センター
 参加者数：9名（延べ24名）
- 日時：11月12日（日）
 内容：読話
 講師：岡恵子氏
 会場（地域）：木口記念会館（芦屋市）
 参加者数：8名
- 日時：1月21日（日）
 内容：読話
 講師：齊藤奈々氏
 会場（地域）：福良地区公民館（南あわじ市）
 参加者数：7名

- ・日時：2月18日（日）
内容：読話
講師：齊藤奈々氏
会場（地域）：洲本市やまて会館
参加者数：6名

4. 難聴者のための手話教室

- ・初級金曜コース 講師：庄司美絵氏 受講者 5名（延べ23名）
7月7日、14日、21日、28日、8月4日 13時半～15時半
- ・初級土曜コース 講師：加藤めぐみ氏 受講者 11名（延べ42名）
7月1日、8日、15日、22日、29日 13時半～15時半
- ・中級金曜コース 講師：大橋敏秀氏 受講者 5名（延べ18名）
11月10日、17日、24日、12月1日、8日 13時半～15時半
- ・中級土曜コース 講師：鎌田種子氏 受講者 13名（延べ55名）
10月28日、11月4日、11日、18日、25日 13時半～15時半
- ・上級コース 講師：仲光恵氏 受講者 10名（延べ40名）
(H30) 1月20日、27日、2月3日、10日、17日（土曜日） 13時半～15時半

5. ろうあ者社会生活教室

- ・日時：9月18日（祝）13:30～15:00
会場：神戸市立総合福祉センター
内容：第5回こうれいしゃ講演会「私が見た魅力的な『島』とは」
講師：山本紋子（公社）兵庫県聴覚障害者協会理事
参加者数：35名
- ・日時：11月26日（祝）13:00～16:00
会場：兵庫勤労市民センター
内容：女性セミナー「薬膳料理～からだ想いから～」
参加者数：18名
- ・日時：2月4日（日）13:30～16:30
会場：神戸市障害者福祉センター
内容：スポーツ部・青年部合同講座
「車椅子バスケットを知っていますか？聴覚障害者以外の障害についてみんなで学ぼう！」
講師：高橋由美（元女子車椅子バスケットボール世界選手権日本代表）
参加者数：40名
- ・日時：2月10日（土）13:30～16:00
会場：兵庫県立のじぎく会館
内容：第20回ろう教育学習会「人工内耳装着者が語るメリットとデメリット」
講師：安尾 麻生氏（高砂ろうあ協会）、岩林 雅子氏（稲美町ろうあ協会）
参加者数：84名
- ・日時：2月24日（土）13:00～16:00
会場：神戸市障害者福祉センター

内容：ひょうご労働・福祉2017「障害者差別解消法及び改正障害者雇用促進法施行後から1年半、

聴覚障害者の就労支援及び相談支援等の合理的配慮について」

講師：（社福）ひょうご聴覚障害者福祉事業協会理事長 大矢 暉氏

参加者数：28名

・日時：3月18日（日）10:00～12:00

会場：あすてっぷKOBÉ

内容：手話フォーラム「手話は宝物」新しい手話を学ぼう！

講師：日本手話研究所標準手話普及確定部 近畿班長 吉田 正雄氏

参加者数：46名

6. 難聴者教室事業

（1）たじま地域難聴者教室「聞こえを学ぶ集い」

日 時：①6月25日（土）、②9月30日（土）13:30～15:30

場 所：アイティ豊岡市民プラザ 市民活動室D

参加者：①申込3名、欠席1名 当日参加2名 （参加者計4名）

②申込1名、当日参加3名（参加者計4名）

内 容：①「ストレッチ体操」「要約筆記の略語・略号を知ろう」

講師：OHP但馬 細川鈴絵氏

内容：略語・略号の読み方、意味

②「介護保険の話し」

講師：介護支援専門員 高島保代氏

内容：介護保険のしくみ、ケアマネの役割など

「ノートテーク体験」

内容：OHP但馬のみなさんと参加者と隣同士に座り、ノートテークを利用しながら
みんなで会話をする。

（2）手話歌を楽しもう（年間5回水曜 13:30～15:30）

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター サロン室

講師は難聴者。さまざまな情報提供や取り組みも前半に加えて実施。要約筆記配置。

4月12日（水）「切手のないおくりもの」 参加者 10名

6月21日（水）「茶摘み」「七夕さま」 参加者 6名

9月27日（水）「見上げてごらん夜の星」「大きな古時計」 参加者 10名

12月20日（水）「きよしこの夜」「雪」「お正月」 参加者 7名

12月21日（水）「しあわせ運べるように」 参加者 11名

（3）読話サークル「ひまわり」（年間5回水曜 13:30～15:30）

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター サロン室

講師は言語聴覚士。読話手話入門講座修了者有志を中心の集まり。要約筆記配置。

5月24日（水）語想起、文書の穴埋め、マップ 参加者 14名

8月 9日（水）読み取り練習、伝言ゲーム 参加者 11名

11月 8日（水）語想起、シルバー川柳 参加者 11名

11月24日(水) 語想起、文章の穴埋め、カルタ	参加者 11名
3月14日(水) 語想起、文章の穴埋め、地名の読み取り	参加者 9名

(4) 手芸サークル(毎月第3金曜 13:30~15:30)

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

講 師：中途失聴の為に講師業を辞めていた方。再び指導できる場を提供。要約筆記配置。

製作品：パッチワーク、モラ、キャラクター手芸品など

参加者の様子：体調不良等で、参加できなくなっている方もおられる中、新しく参加される方や見学者もおられた。

7. 聴覚障害者及び聴覚障害に関する理解促進事業

(1) 中途失聴難聴事業推進委員会の実施

難聴・要約筆記の4団体((特)兵庫県難聴者福祉協会・神戸市難聴者協会・兵庫県要約筆記サークル連絡協議会・要約筆記サークルこうべ)と、情報センターとで兵庫県内全域の難聴福祉を考えることが目的。

会議日：7月7日(金)、1月20日(土) 情報交換、課題共有を行った。

・家庭部会

7月12日(金) 会議

12月9日(土) 己書 参加者7名、講師1名、スタッフ・要約筆記4名

3月9日(土)「パーソナルカラー診断とワンポイントメイク」

参加者 9名、講師1名、スタッフ・要約筆記 3名

・社会生活部会

7月15日、10月16日、12月16日

災害に関する取り組みと方向性を相談し、学習会を実施した。

◇H30年2月10日(土) 13:00~16:00

お 話：(震災時)神戸市難聴者協会会長 中奥 信多加氏

講 師：ベターコミュニケーション研究会 理事長 中園 秀喜氏

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター会議室

参加者：42名、講師・スタッフ等14名(情報保障者含む) 計56名

・労働部会

7月10日、9月30日、11月18日、12月9日、2月3日、3月3日

県内の生産年齢人口における難聴自覚数を算出し、実態把握方法を検討した。

(2)「聴覚障害」の理解セミナー

相談員3名が講師を務め、手話通訳者1名と共に講義・進行を行う。福祉関係者として、地域の障害者へ支援されている方を対象に実施。講義、機器や筆談体験、ロールプレイ等を行った。

11月24日(金) 13:30~16:00 多可町中央公民館 大会議室 申込者なく中止

11月26日(金) 13:30~16:00 (猪名川町) ゆうあいセンター 受講者 10名

12月26日(月) 13:30~16:00 芦屋市民センター本館 201 受講者 11名

(3) 聴覚障害者文化祭

日 時：9月23日(土) 10:00～15:00

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター、マリーホール

参加者：延べ750名

内 容：作品展示、バザー、ステージ発表、機器展など

(4) 聞こえの相談と交流会

ア. 宍粟市会場

日 時：9月9日(日) 13:00～16:00

会 場：宍粟市役所 北庁舎4階401会議室

参加者：23名

内 容：聞こえに関する相談・交流

講師 中川良雄氏(全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 補聴医療対策部長)

イ. 朝来市会場

日 時：11月26日(日) 13:00～16:00

会 場：朝来市和田山生涯学習センター

参加者：18名(難聴者1名、健聴者(家族2名、要約筆記サークル4名、行政2名、
講師・スタッフ5名、情報保障4名)

内 容：聞こえに関する相談・交流

講師 中川良雄氏(全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 補聴医療対策部長)

(5) ふれあいサロン

聴覚障害者と健聴者が自由に交流できる場として情報センター「情報サロン」室で実施した。

第1回 6月7日(水) 13:00～16:00 28名

第2回 10月4日(水) 13:00～16:00 23名

第3回 12月7日(水) 13:00～16:00 45名

第4回 2月7日(水) 13:00～16:00 53名

(6) 聴覚障害児とママ&パパ交流会

地域の学校に通う聴覚障害児の同障児交流の場が必要だと感じ、ろう協青年部、難聴青年部、ろう教育を語り合う会、兵通研下部組織N-Actionと共に交流会を実施。

日 時：8月9日(土) 10:00～15:00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容：(午前) 会議室：柴田昌彦氏(ろう者、薬剤師)による講演

サロン：絵本の手話語り、魚釣り製作 + 別室での保育

(午後) 会議室：牛乳パック工作(難協主導)

塗り絵マスコット釣り(手芸サークルスタッフ主導)

ペットボトルボーリング(神戸大学手話サークル「ぺんぺん草」主導)

フリスビー製作、体感ゲーム(情報センター主導)

参加者：75名 スタッフ：36名 計 111名

(内訳) 子ども36名(内訳：聴障児20名)、ママ21名、パパ14名

8. 聴覚障害者災害対応訓練事業

(1) 防災に関する学習会の実施

日 時：30年2月24日（土）13：30～17：00

場 所：兵庫県聴覚障害者情報センター

内 容：小泉正壽（一般社団法人宮城県聴覚障害者協会会長）

小野康二（熊本県聴覚障害者情報提供センター所長）

参加者：46名（内 聞こえる者20名）

協 力：（公社）兵庫県聴覚障害者協会 災害対策委員会

（2）都賀川等「河川の安全見守り活動検証訓練」の参加・提言

日時：平成29年6月16日（金）13時～16時

場所：都賀川公園周辺

（3）灘区自立支援協議会「きらく・共生部会」

日 時：毎月第2火曜日

場 所：灘区役所他

内 容：地域における防災・災害対策への取り組み（防災ワーキングの参加、都賀川見守り活動等）

9. 聴覚障害者緊急時情報通信事業

「ひょうご防災ネット」を活用して登録者の携帯電話やパソコンに「緊急情報」「おしらせメール」「緊急気象情報」を発信するもので県内市町でも活用されている。当センターにおいても「緊急メール」や「お知らせメール」を用いた必要な情報を発信した。

・「ひょうご防災ネット」メール登録件数 登録件数

お知らせ情報：907件 緊急情報：1189件

10. 情報機器の利用・貸出し事業

聴覚障害者の情報収集・提強やコミュニケーションを支援するため、聴覚障害者が自由に利用できるインターネット接続パソコンを当情報センターに設置するほか、磁気誘導ループ、OHC、モバイルスクリーン、ビデオプロジェクター等の聴覚障害者用情報機器の貸出を行った。

11. 字幕入りビデオライブラリー運営事業

年間貸出し本数：190本

字幕入り映像作品及び自主制作ビデオの貸し出しを行った。

映像作品を分類別に配置し、HPも分類別に作品リストを掲示した。

12. IT機器活用研修事業

（1）パソコン相談の実施

聴覚障害者及び盲ろう者向けにパソコン相談を開催した。

ア. パソコン相談（平日）

相談場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

相談日時：適宜

相談受付者：職員

相談件数：18件

イ. パソコン相談（土曜）

相談場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

相談日時：毎月1回、第3土曜日を基本に調整（14:00～17:00 予約制）

相談受付者：聴覚障害者相談員

相談件数：14件

ウ. 但馬地域パソコン相談

相談場所：たじま聴覚障害者センター

相談日時：隔月1回 第2土曜日、第4土曜日のいずれか（午後1時～5時 予約制）

相談受付者：聴覚障害者相談員

相談件数計：10件

エ. イベント型パソコン・スマートフォン相談会（聴覚障害者文化祭同時開催）

協力企業：ソフトバンク社、KDD I a u O S A K A社、ドコモショップ王子公園店

相談場所：灘区民ホール1階 会議室

相談日時：9月23日(土) 10:00～15:00

相談受付者：携帯会社スタッフ及び聴覚障害者相談員を設置（スマートフォン相談同時受付）

相談件数計：153件

(2) パソコン講習会

ア. 「らくらくパソコン倶楽部」～文字入力から始めよう～

日 時：10月20日（金）～12月15日（金）14:00～16:00 全8回

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

参加人数：4名

イ. 「VBAプログラミング講座（入門）」

日 時：6月17日（土）～8月12日（土）14:00～16:00

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター情報機器利用室

参加人数：5名

(3) IT学校

ア. 「ウェブアクセシビリティを学ぼう」

日 時：6月10日（土）10:00～12:00

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

参加人数：8名

イ. 「タブレットで便利アプリ体験」NTT ドコモ共催

日 時：7月22日（土）10:00～12:00

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

参加人数：11名

ウ. 「写真でパソコンを楽しもう」

日 時：2月2日（金）、2月9日（金）10:00～12:00 全2回

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

参加人数：3名

エ. 「VBAプログラミングフォローアップ講座」

日 時：2月10日（土）10:00～12:00

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター情報機器利用室

参加人数：2名

13. 聴覚障害者向けビデオ自主制作事業

(1) 聴覚障害者向けビデオの自主制作

ア. 聴覚障害者向けに手話や字幕を挿入したビデオを自主制作し、ビデオライブラリーでの貸し出しや関係機関、団体への配布等を行った。（全13タイトル）

- ・情報センターニュース29-No.1

聴覚障害者文化祭、福祉情報機器展、県難聴アンケートの取り組み（40分）

- ・第67回近畿ろうあ者大会① 第一部 オープニング三田太鼓、式典、議事（90分）

- ・第67回近畿ろうあ者大会② 第2部
手話言語条例制定市市長によるパネルディスカッション（90分）
- ・第67回近畿ろうあ者大会③ 第2部・3部
聞こえない当事者議員からのメッセージ、フィナーレ（90分）
- ・デフリンピック2017
～兵庫県選手壮行会・選手からのメッセージ/パネルディスカッション～（90分）
- ・さかの映像祭2017提出作品 「毎日登山 いつまでも」～山村 賢二さん～（15分）
- ・第44回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどいIN高砂
記念公園「ろうあ者と聞こえる人との懸け橋」宍戸仁明氏（75分）
- ・防災知識を高めよう！①「現場レポート 大阪津波・高波ステーション」（120分）
- ・兵庫県における難聴者のあゆみについて」
大上清氏（特定非営利活動法人兵庫県難聴者福祉協会 元理事長）（90分）
- ・防災知識を高めよう！②
「大震災、我々は何をすべきか？～私たちも備えよう～」中園 秀喜氏（60分）
- ・防災知識を高めよう③
「阪神・淡路大震災時の私と難聴」中奥 信多加氏（30分）
- ・防災知識を高めよう④
「震災における聴覚障害者の課題について」小泉正壽氏（90分）
- ・防災知識を高めよう⑤
「被災地は今、その時聴覚障害者は？（熊本地震の経験）」小野康二氏（90分）

イ. 関係団体及び行政機関との合同制作及び制作協力

- ・兵庫県聴覚障害者協会賛助会員特典DVD（10分）
- ・兵庫県手話通訳統一試験対策講座 指導用DVD ①～③（5分）
- ・兵庫県聴覚障害者協会認定手話通訳者試験 読取試験問題（8分）
- ・全日本ろうあ連盟～ハンガリー アダム・コーシャ氏からのメッセージ～
（国際手話通訳・日本語字幕挿入）（4分）
- ・全国聴覚障害者情報提供施設協議会
「電話リレーサービスと遠隔手話通訳について」（企画、出演協力）（30分）

（2）CS障害者放送「目で聴くテレビ」等への番組提供・協力

兵庫からの情報番組として、CS放送「目で聴くテレビ」へ映像提供、取材協力を行った。

- ・つつうらうら「毎日登山 いつまでも」山村 賢二氏（10分）
- ・手話言語条例施行の取り組み 加東市「さくらルーム 開所」（10分）

（3）聴覚障害者向けビデオ映像のインターネット動画配信

従来のビデオライブラリー貸出しに加え、映像用のホームページ及びブログを活用し、インターネット上で動画配信を行った。（全19本 神戸市動画事業映像9本含む）

- ・手話言語条例施行後の取り組み 加東市「さくらルーム 開所」（10分）
- ・聴覚障害者文化祭・情報福祉機器展開催（5分）
- ・イラストレーター 門秀彦さん インタビュー（5分）
- ・兵庫県難聴者協会 難聴者対象アンケートの取り組み（10分）
- ・ダスキン研修生からのメッセージ（3分）
- ・センター行事のお知らせ 手話版「関数講座のご案内」（2分）
- ・センター行事のお知らせ 手話版「災害学習会のご案内 ①」（2分）
- ・センター行事のお知らせ 手話版「災害学習会のご案内 ②」（2分）
- ・センター行事のお知らせ 手話版「写真加工講座のご案内」（2分）

(4) 放送番組等への字幕付加

関係団体や聴覚障害者に対し字幕付加希望番組調査を行った。

その結果、付加希望リストにのぼった放送番組やこれまで当センターが取材協力した番組を中心に、字幕を付加した。字幕は、昨年度字幕スタッフ養成講座修了生が中心に制作した。

- ・目で見てわかる防災を。(NHK)(6分)
- ・全国初 ろうあ者議員の誕生(サンテレビ)(7分)
- ・手話ではじめての一般質問(きこえない議員の奮闘)(関西テレビ)(2分)
- ・神戸から手話で語る震災体験(NHK)(4分)
- ・炎はこうして街をのみ尽くした(NHK)(4分)
- ・盲ろう児教育の現場(関西テレビ)(27分)
- ・新政権へ盲ろう者からの提言(読売テレビ)(26分)
- ・災害に備える障害者が避難訓練(NHK)(2分)
- ・兵庫県における難聴者運動の歩み(大上清氏特別講演)(120分)
- ・聞こえを学ぶセミナー(光華女子大学 高井小織氏特別講演)(90分)

14. 神戸市手話動画制作事業

(1) 神戸市より手話動画の制作依頼を受けて手話動画を制作し、神戸市ホームページ等で配信した。

配信場所：神戸市ホームページ、兵庫県立聴覚障害者情報センターホームページ、Youtube(兵庫県立聴覚障害者情報センターのサイト)

- ・手話単語をおぼえましょう⑫「自治会の集まり」
- ・手話単語をおぼえましょう⑬「PTAでの出来事」
- ・手話単語をおぼえましょう⑭「世病院の受付」
- ・手話単語をおぼえましょう⑮「手話講習会について」
- ・手話単語をおぼえましょう⑯「相談窓口での対応」
- ・手話単語をおぼえましょう⑰「介護の相談」

15. 手話普及「はじめての手話講座」

県民に広く聴覚障害に対する理解を深め、手話に関心を持ってもらうための講座を開いた。

(1) 手話普及啓発講座「はじめての手話講座」

実施期間：平成29年7月15日(土)～平成30年2月17日(火)

開催回数：全25回(一般県民向け15回 親子向け10回)1回2時間

実施場所：県民向け 福崎町、養父市、川西市、猪名川町、神戸市2、篠山市、芦屋市、尼崎市
洲本市、西脇市、加西市、加古川市、神河町、赤穂市

親子向け 西宮市、宝塚市、播磨町、三木市、姫路市、たつの市、丹波市、神戸市、
養父市、淡路市

参加人数：791名

内容：聴覚障害や手話についての講義、手話実技、グループ交流

収一 1 出版物等普及事業

1. 出版事業

平成29年度は、兵聴協の独自出版物として『国際手話ハンドブック第1巻』を発行したが、まだ在庫を抱えているために30年度も引き続き力を入れたい。また、テキストや新刊を含め全日本ろうあ連盟の出版物の売り上げが低迷した。読者の高齢化等で季刊みみの売上也落ちてきており、新規購読者の開拓が急務である。

平成29年度書籍売上（冊数）ベスト30（協会への預売・売掛も含む）

平成30年3月31日現在

順位	品 名	数量	売上額（円）
1	国際手話ハンドブック第1巻	1,112	1,668,000
2	奉仕員テキスト	691	2,238,840
3	新しい手話 2018	450	437,400
4	MIMI 157	202	155,540
5	MIMI 156	199	153,230
〃	MIMI 158	199	153,230
7	新 たっちゃんと学ぼう	187	40,473
8	MIMI 159	186	143,220
9	わたしたちの手話学習辞典Ⅰ	176	494,208
10	通訳Ⅰ 養成テキスト	136	411,264
11	通訳Ⅲ 養成テキスト	117	353,808
12	手話を学ぶ人のために	113	195,264
13	通訳Ⅱ 養成テキスト	105	317,520
14	淋しいのはアンタだけじゃない2	100	59,600
15	淋しいのはアンタだけじゃない1	100	59,600
〃	通訳者 講義テキスト（Ⅰ／Ⅱ共用）	98	179,928
17	手話テキスト 聴さんと学ぼう！	90	87,480
18	手話で防災 ～聴覚障害者の災害時支援のために～	79	42,660
19	差別事例分析結果報告集	76	41,040
20	わたしたちの手話学習辞典Ⅱ	61	171,288
21	淋しいのはアンタだけじゃない3	47	28,012
22	よくわかる！聴覚障害者への合理的配慮とは？	45	38,880
23	新しい手話 2017	43	41,796
24	道 ～ろうあ運動を支えた人びと～	41	66,420
〃	聴さん 今日も行く！	39	37,800
26	通訳Ⅲ 指導書	36	136,080
27	奉仕員養成 指導書	36	97,200
28	手話・言語・コミュニケーションNo.5	31	60,264
29	段また段を成してDVD	30	39,000
30	兵庫の手話 改訂版	27	40,500

2. 事業部

聴覚障害者用福祉用具や関連商品の販売・普及、また聴覚障害者および関係者向けのイベント等を企画・実施する。

(1) 自動販売機事業

ア. 設置数：3台

- ・神戸ろうあハウス
- ・たじま聴覚障害者センター
- ・兵庫県立聴覚障害者情報センター（オリジナルデザイン）

(2) 要約筆記用OHPロール・補聴器電池・筆談器販売事業

ロール紙 355本

補聴器電池 本部事務所36個、たじま聴覚障害者センター3個、情報センター10個

筆談器 かきぽん@2,920 3個、COBO@1,800 4個

(3) 聴覚障害者および関係者向けのイベント企画を行うため、物品販売等を実施する。

日時・回数：平成28年6月～平成29年3月 全5回

対象者：聴覚障害者等活動をしている団体

(4) 国際手話講座

ア. セブ講演会

日程：平成29年4月27日（木）19:00～20:30 会場：神戸市立総合福祉センター

テーマ：フィリピン セブ島について 講師：クリストファー・アモモンポン氏

イ. 国際手話講座

日時：平成30年2月9日（金）、23日（金）、3月14日（水） 19:00～20:30

会場：神戸市立障害者福祉センター、あすてっぴ KOBÉ

テーマ：国際手話ハンドブック第1巻を使って学ぼう 講師：足立達哉氏

1. ひょうご聴覚障害者介護支援センター

(1) 統括

ア. ヘルパーの質の向上を目指した学習会の開催

- ・月1回の活動ヘルパー会議時と年4回の登録ヘルパー全員の研修会において援助技術・知識を深める。

ヘルパー会議で行った研修テーマ

- ・緊急時の対応 ・熱中症、感染症、食中毒について ・高齢者虐待防止法について
- ・非常災害時の対応について ・個人情報保護法について ・認知症について ・法令順守について
- ・ヒヤリハットについて ・接遇マナーについて（感染症予防、蔓延防止） ・介護予防について
- ・実技 おむつの当て方について
- ・介護技術確認及びセルフチェック

ケアマネジャー（以下 CM）も参加し、共にスキルアップ向上とサービス提供責任者と担当ヘルパーとの情報共有に努めた。利用者に対する悩みや支援内容の相談・分析を行った。

イ. 事業内容の検討

- ・兵庫県聴覚障害者協会のホームページ内のムービーを新しく作成。来年度にホームページ内のムービーを変更検討していく。今後講義依頼などがあった場合、流していくことも検討。

(2) 事業内容

地域生活支援事業の移動支援が認められる。現在、神戸市・三木市・明石市・尼崎市・加西市のみだが今後も依頼があれば派遣範囲を広げていくようにしていく必要がある。

ア. 介護保険法

- ・居宅介護支援事業（CM によるケアプラン作成・認定調査）
- ・訪問介護事業・介護予防訪問介護事業・総合事業（ホームヘルパーの派遣）

イ. 障害者自立支援法

- ・居宅介護事業
- ・重度訪問介護事業
- ・同行援護事業
- ・行動援護事業
- ・移動支援（地域生活支援事業） 対象市…神戸市、三木市、明石市、尼崎市、加西市

(3) 運営会議

1ヶ月に1回担当理事・サービス提供責任者・CM 及び職員との間で報告・連絡・相談をすることにより情報を共有していくとともに、課題について話し合った。

(4) 居宅介護支援事業とホームヘルパー派遣

居宅介護支援事業所は22名の居宅サービス計画書（ケアプラン）作成・相談（要介護認定申請・他サービス事業所の紹介等）や問い合わせに対応しながらそれぞれの在宅支援に貢献した。

訪問介護事業・介護予防訪問介護事業、障害者総合支援法の居宅介護事業、地域生活支援事業の移動支援として県全域を対象にホームヘルパーを派遣した。

今後も利用者の増加に努める。またろうあ行事がある場合参加を促して仲間たちとの交流を増やしていくよう支援していく。要支援や介護度が軽い（要介護1，2）方の割合が比較的多く、生活援助（予防支援）の時間が増加。

ア. 利用地域（平成29年度末現在）

神戸市、尼崎市、明石市、三田市、豊岡市、三木市、赤穂市、多可町・福崎町

イ. ヘルパー派遣時間

平成29年度 介護保険・・・2,456.55時間

障害福祉支援・・・601.35時間

地域生活支援事業・・・78.15時間

ウ. 介護保険利用者数（平成29年度末現在）

要支援1： 2名（平成28年度 2名）

要支援2： 1名（平成28年度 1名）

要介護1： 7名（平成28年度 7名）

要介護2：10名（平成28年度11名）

要介護3： 4名（平成28年度 0名）

要介護4： 0名（平成28年度 0名）

要介護5： 0名（平成28年度 0名）

合計 24名（平成28年度21名）

エ. 総合支援利用者数（平成29年度末現在）

区分1： 0名（平成28年度 0名）

区分2： 5名（平成28年度 5名）

区分3： 3名（平成28年度 2名）

区分4： 0名（平成28年度 0名）

区分5： 0名（平成28年度 0名）

区分6： 0名（平成28年度 0名）

合計 8名（平成28年度 7名）

オ. ブロック別利用者数（平成29年度末現在）

・介護保険

阪神0名、神戸16名、東播1名、西播2名、北播1名、丹有2名、但馬2名 合計24名

・総合支援

阪神1名、神戸6名、東播1名、西播0名、北播0名、丹有0名、但馬0名 合計8名

1. 青年部

(1) 総括

ア. 第29回兵庫県ろうあヤングレクリエーション

淡路島にて実施しました。地引網体験と、獲れた魚のさばき体験及びバーベキューを行いました。雨模様の中での実施でしたが、家族連れの参加も多く、交流を深めることができました。

また、行事に初めて参加した青年部員も多くいました。

イ. ろう子どもふれあい企画

姫路の書写アウトドアパークタロリン村にて実施しました。昨年度と比較すると参加人数は少なくなりましたが、水遊びを行い、子ども達や保護者の方々からも大変よい評価を頂くことができました。

ウ. 第37回兵庫県ろうあ青年研究討論会

豊岡にて実施しました。内容は講演と分科会の二つであり、講演では仲井正理事に「兵聴聴青年部の歴史」、小林泉理事に「たじま聴覚障害者センターについて」というテーマでそれぞれ講演頂きました。分科会では「青年部に入ったきっかけ、現在も会員を続けている理由」について話し合いを行い、自らの原点を振り返ることができました。

エ. 第12回ふくろう・ふれ愛まつり

残念ながら台風接近により、屋台を出店する事はできませんでした、

オ. 青年のすゝめ(N-Action ひょうご交流会)

兵通研内の班の1つであるN-Action ひょうごと合同で「段また段をなして」上映会及び、学習企画を実施しました。学習企画では嶋本恭規理事に「手話通訳制度」をテーマに、ろうあ運動の歴史についても講演頂きました。手話通訳について学ぶだけではなく、改めて「何の為に青年部はあるのか」について考える良い機会となりました。

今後もN-Action ひょうごとの関係づくりを進め、様々な企画を立てていきたいと思ひます。

(2) 事業経過報告

日程	内容	開催地	参加者数
2017年 4月2日	2017年度近畿ろうあ連盟青年部 定期代議員会	尼崎	4名
4月8日	第6回(公社)兵庫県聴覚障害者協会青年部 総会	神戸	出席15名
5月21日	N-Action ひょうご合同「段また段をなして」上映会	三木	31名
6月3日	第65回全国ろうあ者大会 青年のつどい	福岡	6名
6月25日	第29回兵庫県ろうあヤングレクリエーションr	淡路島	61名
7月23日	ろう子どもふれあい企画	神戸	19名
8月12～13日	第36回全国ろうあ青年部活動者会議	茨城	3名
9月3日	第33回近畿ろうあヤングフェスティバル	滋賀	9名
9月9日～10日	第37回兵庫県ろうあ青年研究討論会	豊岡	39名
10月1日	第67回近畿ろうあ者大会 青年のつどい	三田	10名
10月7日～8日	第49回近畿ろうあ青年研究討論会	奈良	7名
10月22日	第12回ふくろう・ふれ愛まつり	淡路島	出店中止
11月3日～5日	第51回全国ろうあ青年研究討論会	大阪	18名
11月11日～12日	第3回兵庫県ろうあ者討論集会	神戸	4名

11月23日	青年のすゝめ（N-Action ひょうご交流企画）	神戸	64名
11月26日	第11回近青&近コン合同企画	尼崎	3名
12月3日	2017年度近畿ろうあ連盟青年部 中間代議員会	大阪	6名
2018年 1月14日	第44回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい	高砂	11名
2月4日	青年講座（社会生活教室 ※スポーツ部と共催）	神戸	15名
2月17日～18日	第49回全国委員会	東京	1名
2月24日～25日	第8回西日本エリア幹部研修会	高知	2名

2. 女性部

（1）総括

ア. 第40回定期総会

昨年度と同様に出席率が芳しくなく発言も少なく残念でした。ご多忙とは思いますが皆さんのご意見を反映して頂けるよう次年度には是非ご出席頂きお願いしたいと思います。また、監事から開催数字の訂正指摘を受け、本部と同じように2018年度から第7回とします。

イ. 社会見学

貸し切りバスで和歌山県高野山へ参詣しました。深緑の山々を越えて行くと先にあるのは天空の聖地高野山。空海大師が開いた多くの人々が祈りを捧げてきたその世界に触れて自然と一つになった神秘的な場所で身も心もすっきりしました。

ウ. 大学学習

大堀信子氏講演で生い立ちや活動のきっかけ、相談員の仕事などをお話しして頂きました。分かりやすく女性としての視野でしたので大好評でした。

エ. 第46回近畿ろうあ女性フォーラム

久々に兵庫が当番にあたり、神戸と尼崎ろうあ女性部の協力を得て開催出来ました。おかげさまでスムーズに予定通り進められた事を心から感謝しております。報告書も簡潔に分かりやすくまとめ、配布しましたところ、近畿6府県女性部から好評を得て嬉しく思います。

オ. 第37回兵庫県ろうあ女性のつどい

第46回近畿ろうあ女性フォーラム開催のため、休止しました。

カ. 女性部会

午前の女性セミナーのあとに開かれました。県女性部に対する意見が活発に出されました。遠く豊岡から出席者がいるにもかかわらず、委任される方も多く、残念に思いました。

キ. 女性セミナー（社会生活教室）

薬膳料理～からだ想い～薬膳料理とはなにか？4000年の歴史を持つ中国の伝統医学が由来で、季節や食べる人にあった食事を作る事が薬膳だそうです。誰でも季節に合わせた食事を選ぶことが出来れば家庭の薬膳となれるそうです。

ク. 第46回全国ろうあ女性集会

各分科会では議論が行われ、27日夜の夕食会のアトラクションは牧山定義氏の力強いパフォーマンスという形でろうあ運動の歴史を熱く語ったことで感動された方が多かったです。記念公演は日本障害フォーラム副代表の藤井克徳氏による「ナチスから迫害された障害者たち」をテーマにお話がありました。障害者への強制断種と殺りくの「T4作戦」はドイツ全土に殺りく施設が作られ、人を助ける医者までもが、それに加担していたというのは本当に恐ろしいことでした。

ケ. デフ女子会（新年会）

内外ともお洒落なお店で和洋折衷のフルコースを美味しく味わいながらゆったりとした交流出来ました。来年度はどこにするか皆さんのご要望に添えたいと思っております。

コ. 第44回女性集会

全国委員会の報告と講演を行いました。北は北海道、南は沖縄から集まりました。講演はサーフィショップ&ハワイアン雑貨店オーナー太田辰郎氏「夢とコミュニケーション～我が人生サーフィンとともに～」でした。生い立ちと家族構成、自分の夢と店の運営の大変さをお話しして頂きました。

(1) 事業経過報告

ア. 県女性部

- ・4月 9日(日) 第40回定期総会 神戸婦人会館
- ・5月21日(日) 社会見学 高野山
- ・11月26日(日) 女性セミナー・女性部会 兵庫勤労市民センター
- ・1月20日(土) デフ女子会(新年会) アンクィール

イ. 近畿

- ・4月22日(土) 第1回本部委員会・女性部定期総会 大阪府谷町福祉センター
- ・6月24日(土) 第2回本部委員会、女性フォーラム打ち合わせ 大津公会堂
- ・7月 8日(土) 大学習会 神戸市勤労会館
- ・7月 9日(日) 第46回近畿ろうあ女性フォーラム 同上
- ・11月23日(祝) 第3回本部委員会、代議員会 大淀コミュニティセンター
- ・3月11日(日) 第4回本部委員会 守口市障害者障害者・高齢者拘留会館

エ. 全国

- ・10月27日～29日(日) 第47回全国ろうあ女性集会 群馬県伊香保温泉
- ・1月27日～28日(日) 第42回全国委員会・第44回女性研修会 兵庫県

3. 高齢部

(1) 総括

ア. 第29回兵庫県ろうあ者敬老会

敬老会は神戸市立総合福祉センターで行われ、80歳以上の長寿者は11名で、最高齢は93歳でした。高齢にも関わらず、楽しみにして遠くから来られた方もいました。祝金を贈り、聾学校はどこ・趣味・長生きの秘訣など、いろいろとお話をして頂きました。そのあとはジェスチャーゲームで盛り上がりました。

イ. 第6回こうれいしゃ講演会

兵聴協理事の山本紋子さんに来てもらい、「私が見た魅力的な『島』とは」のテーマで、クイズ方式を交えながら講演していただきました。さらに参加者からも島めぐり経験話もありました。

ウ. 2017社会見学

社会見学は3月7日(水)に姫路の杵屋で和菓子作り体験をしました。他の行事と重なっていたために参加人数は逆に少なくて18名でした。少ない人数ながらもいろんな地域からの参加者は交流しながら季節の和菓子「野の花(ヨモギ)」「春の香(三色)」「花便り(ピンク白)」の3種類を作りました。

エ. 2017 1泊2日の旅

2018年2月16日(金)～17日(土) 愛知 岐阜1泊2日の旅では過去最高の48名の参加者がありました。1日目はリニア鉄道館、名古屋城を見学した後は長良川温泉のホテルに泊まりました。2日目は長良川うかいミュージアムと美濃焼ミュージアム、明治村を見学しました。全員怪我もなく無事に帰路につきました。

オ. 第38回近畿ろうあ高齢者大会&第9回近畿ろうあ高齢者スポーツ大会

2017年5月頃、実行委員会を設け、大会を目指すために内容を工夫しながら話し合いを重ねてきました。9月2日（土）は第38回近畿ろうあ高齢者会が行われ、参加者は約150名でした。午前中は会務報告、大会決議があり、午後からはクンパダブンムル隊や神戸ろう太鼓集団「鼓神」のアクションと廣田しづえさんの記念講演がありました。夜は交流パーティがあり、ほぼ全員が参加するという状態で、中には聾学校での思い出話に盛り上がっていました。9月3日（日）はお天気にも恵まれ、ゲートボール競技は8チームがリーグ戦で対抗、グラウンドゴルフ競技は54名が5名ずつチームを組み、個人・団体の成績で順位が決まりました。近畿園内のろうあ者が一丸となって交流を深めることが出来ました。

（2）事業経過報告

4月 9日（土）	第6回高齢部定期総会	（出席22名・委任20名）
5月16日（月）	第1回役員会	兵聴協 分室 （8名）
6月20日（火）	第2回役員会	兵聴協 分室 （7名）
8月16日（火）	第3回役員会	兵聴協 分室 （7名）
9月 2日（土）	第38回近畿ろうあ高齢者大会 （神戸しあわせの村）	
～3日（日）	第28回近畿ろうあ高齢GB大会	
	第9回近畿ろうあ高齢者GG競技大会大会（神戸しあわせの村）	（153名）
9月17日（祝）	第31回兵庫県ろうあ者敬老会	神戸市立総合福祉センター（32名）
17日（祝）	第7回こうれいしゃ講演会【社会生活教室】	神戸市立総合福祉センター（30名）
10月17日（火）	第4回役員会	兵聴協 分室 （7名）
12月 5日（月）	第5回役員会	兵聴協 分室 （8名）
2018（平成30）年		
2月 6日（月）	第6回役員会	兵聴協 分室 （8名）
2月17日（金）～18日（土）	2017 1泊2日の旅 【愛知・岐阜方面】	（48名）
3月7日（水）	2017社会見学	六甲山牧場 （18名）
3月14日（火）	第7回役員会	兵聴協 分室 （8名）

近畿

2017（平成29）年

5月18日（水）	近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	【西 宮】 （1名）
9月10日（土）	第38回近畿ろうあ高齢者大会&第28回GB競技大会&	
～11日（日）	第9回GG競技大会	【神 戸】 （12名）
11月15日（火）	近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	【西 宮】 （2名）

2018（平成30）年

2月15日（水）	近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	【西 宮】 （2名）
3月 1日（水）	第2回近畿ろうあ高齢部幹部研修会	【西 宮】 （5名）

全国

2017（平成29）年

6月 3日（土）	第65回全国ろうあ者大会・高齢者のつどい	【福 岡】（多数）
9月21日（水）	第29回全国ろうあ高齢者大会&第31回ゲートボール競技大会	
～25日（日）	&第7回グラウンドゴルフ大会	【新 潟】（0名）
11月25日（金）～26日（土）	第10回全国ろうあ高齢部代表研修会	【滋 賀】（3名）

4. スポーツ部

(1) 平成29年度 総括報告

1. 第44回近畿ろうあ者体育大会 in 京都

29年度は兵庫から72名の参加がありました。前年度(兵庫)参加数73名と比べて1名減りました。29年度より5月第3週開催から6月開催になり、オープン競技であったフットサル競技が、30年度(滋賀大会)から正式競技になります。

2. 第51回全国ろうあ者体育大会 in 静岡

29年度は兵庫から55名の参加がありました。前年度(東北ブロック分散開催)参加数11名と比べて44名増えました。30年度(埼玉大会)からフットサル競技がオープン競技として加わり、野球同様、近畿ろうあ者体育大会において優勝したチームが全国体育大会出場権を得ることができます。

3. 第36回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会 in 加古川

台風21号に伴う大雨の影響で、加古川下流の水位が上昇し河川敷が冠水し、河川敷緑地グラウンドは泥や流木、がれきが堆積したり表土が流出して使用できなくなったため、中止になりました。5チーム60名ほどのたくさんのお申し込みがあっただけに、とても残念でした。30年度は北播ブロック開催予定です。

4. スポーツふれあい2017

スポーツ吹き矢の体験を行ないました。参加7名が、兵庫県身体障害者吹き矢協会講師の指導のもと、前半は練習、後半は的の合計得点を競いました。吹き矢は、腹式呼吸の心肺機能向上と集中力を高めるとのことで、参加者全員がとても熱心に集中され、講師との交流も楽しかったとのことでした。

5. 兵庫県ろうあ者社会生活教室(青年部合同企画)

「車椅子バスケットを知っていますか?聴覚障害以外の障害についてみんなで学ぼう!」を企画し、元女子車椅子バスケットボール世界選手権日本代表選手である高橋由美氏を講師にお招きしました。約40名の参加があり、部屋は満杯の状態です。質問もたくさん飛び交いました。講師は様々な障害者とともに仕事をしており、他の障害者の特性を知り、どういう配慮が必要かを考えさせられる良い機会となりました。

6. 第23回夏季デフリンピック(トルコ・サムスン)

7月に兵庫日本代表選手壮行会を開催してデフリンピック展示やデフリンピックDVD映像などデフリンピックを知ってもらい、元メダリストのミニ講演後、選手たちのパネルディスカッションを行ない、健闘・活躍を祈ってみんなで激励し、送り出しました。結果、バレーボール女子日本代表が金メダル獲得しました。兵庫県から安積梨絵(姫路市)、畠奈々子(稲美町)両選手に、兵庫県スポーツ賞「特別選手賞」が贈られました。

(2) 平成29年度 事業経過報告

第17回全国障害者スポーツ大会/聴覚障害者バレーボール競技近畿予選大会

【日程】平成29年5月21日(日)

【場所】宇治市立 西宇治体育館(京都府)

【参加】兵庫県男子8名・兵庫県女子12名・神戸市女子8名

【結果】大阪市男子、大阪市女子ともに優勝(全国大会出場権獲得)

第44回近畿ろうあ者体育大会 監督主将会議

【日程】平成29年5月28日(日)

【場所】京都府聴覚言語障害センター

第44回近畿ろうあ者体育大会

【日程】平成29年6月17日(土)～18日(日)

【場所】京都府立山城総合運動公園

【参加】55名

【結果】軟式野球(兵庫イーグルス)団体優勝、バレーボール女子(HYOGO)団体優勝、卓球男子個人戦優勝、フットサル男子(H.D.F.C)団体優勝。個人賞獲得も各競技において多数目立ちました。

第51回全国ろうあ者体育大会

【日程】平成29年9月22日(金)～24日(日)

【場所】静岡県草薙総合運動場体育館 他

【参加】55名

【結果】野球：団体初優勝、バレーボール女子(兵庫A)：団体優勝、バレーボール男子：準優勝、テニス男子ダブルスA 森本尚樹(兵庫)&笹島航太(京都)：準優勝、ダブルスBクラス 前原浩人(兵庫)&松下武史(大阪)：準優勝、バドミントン女子シングルス2部：優勝

第17回全国障害者スポーツ大会／聴覚障害者バレーボール競技

【日程】平成29年10月28日(土)～30日(月)

【場所】しおさい公園(伊予市民体育館)(愛媛県)

【結果】男子優勝：愛知県、女子優勝：大阪市

兵庫県ろうあ者社会生活教室(青年部合同企画)

【日程】平成30年2月4日(日)

【内容】「車椅子バスケットを知っていますか？聴覚障害以外の障害についてみんなで学ぼう！」

【場所】神戸市障害者福祉センター

【参加】40名

スポーツふれあい2017

【日程】平成30年3月10日(土)

【内容】スポーツ吹き矢体験

【場所】兵庫県立障害者スポーツ交流館(神戸市)

【参加】7名

《県》

4月 1日(土)	決算会計監査	(兵聴協事務所分室)
4月 9日(日)	第28回スポーツ部総会	(神戸市立総合福祉センター)
6月15日(木)	第1回役員会	(兵聴協事務所分室)
7月 1日(土)	デフリンピック壮行会	(神戸市障害者福祉センター)
9月 1日(金)	第2回役員会	(兵聴協事務所分室)
9月28日(木)	第3回役員会	(兵聴協事務所分室)
10月26日(木)	第4回役員会	(兵聴協事務所分室)
11月18日(土)	デフリンピック報告会	(兵庫県立聴覚障害者情報センター)
11月24日(金)	中間会計監査	(兵聴協事務所分室)

平成30年

1月12日(金) 第5回役員会 (兵聴協事務所分室)

2月 4日(日) 兵庫県ろうあ者社会生活教室／青年部・スポーツ部合同企画)

(神戸市障害者福祉センター)

3月10日(土) 第6回役員会

(兵庫県立障害者スポーツ交流館)

《近畿》

5月15日(土) 第1回近畿ろうあ連盟体育部常任委員会 (大阪)

5月27日(土) 第2回近畿ろうあ連盟体育部常任委員会 (京都)

5月28日(日) 近畿ろうあ連盟体育部2016年度全体委員会 (京都)

8月20日(日) 第3回近畿ろうあ連盟体育部常任委員会 (京都)

12月10日(日) 第4回近畿ろうあ連盟体育部常任委員会 (大阪)

平成30年

2月18日(日) 第5回近畿ろうあ連盟体育部常任委員会 (大阪)

《全国》

9月22日(金) 第51回全国ろうあ者体育大会ブロック・加盟団体体育部長会議 (静岡)

平成30年

2月 9日(金) 第43回全国ろうあ者冬季体育大会 (～11日岩手)

《世界》

7月18日(火) 第23回夏季デフリンピック (～30日トルコ・サムスン)

5. 全国手話検定試験事業

(1) 全国手話研修センターが主催する「全国手話検定」の兵庫会場として当法人が準備を進め、試験実施に協力しました。(5級～1級)

ア. 5級・4級試験の実施

日 程：平成29年10月14日(土)

会 場：兵庫県立のじぎく会館、神戸市立総合福祉センター

受験者：5級 128名、4級 138名

イ. 3級・2級試験の実施

日 程：平成29年10月15日(日)

会 場：兵庫県立のじぎく会館

受験者：3級 108名、2級 69名

ウ. 準1級・1級試験の実施

日 程：平成29年10月21日(土)

会 場：神戸市立総合福祉センター

受験者：準1級 21名、1級 21名

エ. 団体受験の実施

加東市役所(9/16) 5級・4級、須磨ノ浦高校(9/30) 5級・4級

6. 第13回兵庫県聴覚障害者文化祭

日 時：平成29年9月23日(土) 午前11時00分～午後3時00分

場 所：神戸市立灘区民ホール

2階兵庫県立聴覚障害者情報センター、5階マリーホール、都賀川公園河川敷

- 内 容： ・ステージ発表（ダンス、和太鼓、チャンゴ、手話歌、講演など）
・展示コーナー（写真、イラスト、手作り手芸品、健康コーナーなど）
・バザー出店（物品、特産物など）
・飲食コーナー・ミニグルメ横丁（チラシ寿司、うどん、キャベツ焼きなど）
・第5回聴覚・視覚・発達障害のための情報福祉機器展

参加者：750人

7. 第44回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい in 高砂

日 時： ・平成30年1月14日（日）午前10時00分～午後4時00分

場 所： ・高砂市勤労者総合福祉センター

- 内 容： ・第一部 オープニング 「HIMEJUG(ヒメジャグ)」兵庫県立大学奇術同好会
大会式典 （来賓、来賓祝辞等）
成人祝いのつどい（新成人紹介、励ましのことば、記念品贈呈など）
戌酉年生まれ祝いのつどい（紹介、お祝い、記念品贈呈）
・第二部 アトラクション 「Petit Angel（プチ エンジェル）」
（ガールズダンスチーム） — 子供達のダンス演技 —
記念講演 題名「ろうあ者と聞こえる人とのかけ橋」
講師 穴戸 仁明 氏（NHK 松山放送局 広報・事業部長）
・第三部 次回開催地への引継ぎ 高砂市から宍粟市へ
福引抽選会

参加者：470名

8. 第35回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

【日程】平成29年11月5日（日）

【場所】河川敷(河原)グラウンド（加古川市）

【参加】5チーム 約60名《申し込み》

【結果】台風21号に伴う大雨の影響によりグラウンド壊滅のため中止

9. 第3回兵庫県ろうあ者討論集会

日 程：平成29年11月11日（土）～11月12日（日）

場 所：シーサイドホテル舞子ビラホテル

参 加：67名

内 容：講演・分科会

講 師：藤木和子氏

（弁護士／元筑波技術大学法律学講師／現在、国立障害者リハビリセンター学院手話通訳学科の学生）

テーマ：『高松裁判とアメリカ視察』～今、生まれてきてよかったと思える社会の実現に向けて～

高松裁判は、6年前の2011年、娘（高校3年生）が進学を希望する専門学校のオープンキャンパス時に開催される保護者説明会に参加するため高松市に手話通訳者の派遣申請をしたところ、市外であることや保護者説明会は客観的に見て参加する必要性、重要性が乏しいとの理由で却下された問題

から提訴。2年8カ月の裁判を経て高松市の制度が変わるお話であり、権利として必要な理由を周囲の人々や公共機関にろう者のことを理解してもらうという関わりが必要であることを再認識しました。アメリカ視察は、聴覚障害関係団体からアメリカに派遣され、司法省、電話リレーサービス、災害対策・対応、ギャローデッド大学などを視察し、障害者差別解消法、情報アクセス・コミュニケーション法、手話言語法を制定するために調査報告を基に話をして頂き、法律についての話もあり、弁護士の報酬の違いや手話通訳士の給料、テレビCMの字幕等、実現出来たのは法律があるからです。これをきっかけに日本も法律を上手に使いこなして一人一人が豊かな生活を送れるように、ろうあ運動の原点に戻り活動のヒントが多く得ることができた討論集会になりました。

・分科会

第1分科会「聴覚障害者の暮らし」

～手話通訳派遣に関して～

参加：36名

第2分科会「私たちが暮らしやすい社会を目指して」

～ここが変わったら暮らしやすくなるよね～

参加：31名

10. 幹部研修会

(1) 第1回幹部研修会

日 程：平成29年6月24日（土）

場 所：新長田勤労市民センター別館ピフレホール

参 加：61名

内 容：「各地域に於ける、ろう協会の運動について」

・設置手話通訳関連について・組織部報告（会員・日聴紙拡大運動報告）

(2) 第2回幹部研修会

日 程：平成30年3月31日（土）

場 所：神戸市立総合福祉センター

参 加：65名

内 容：『行政に対する交渉方法を学び、更なる知識を深めていこう！』

講 師：前田 公幸氏（篠山市社会福祉協議会事務局長／社会福祉士）

説明会：『最新のアイドラゴン4について』

説明者：障害者放送通信機構担当者

1.理事会

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
		2017/ 04/22	2017/ 05/20	2017/ 06/17	2017/ 08/10	2017/ 10/25	2017/ 12/16	2018/ 01/13	2018/ 03/19
理事長	本郷 善通	出	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	小林 泉	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	嶋本 恭規	出	出	出	出	出	出	出	出
	嘉田 眞典	出	欠	出	出	出	出	出	出
	山本 健良	欠	欠	出					
	仲井 正	出	出	出	出	出	出	出	出
	橋詰 一則	出	出	出	欠	出	出	出	出
	岩本 吉正	出	欠	出	出	出	出	出	出
	山本 紋子	出	出	出	出	出	出	出	出
	古 隆喜	出	出	出	出	出	出	出	出
	足立 達哉	出	欠	出	出	出	出	出	出
	木戸めぐみ	出	出	出	出	出	出	出	出
	水田 俊子	出	欠	出	出	欠	出	出	欠
	中村 泰輔	出	出	出	出	出	出	出	出
監事	吉野 浩	出	出	出	出	出	出	出	出
	井谷 亮	出	欠	出	出	出	出	出	出

2. 総会

第6回総会 平成29年6月17日（土）13時30分～16時

新長田勤労市民センター

出席 104 人 委任 392 人

〔議事結果〕

	不承認	保留	承認
第1号議案 議長選出の件	0名	0名	104名
第2号議案 平成28年度事業報告の件	0名	0名	104名
第3号議案 平成28年度決算報告及び平成28年度監査報告の件	0名	1名	103名

3. 事務局

- ・協会の実務全般のとりまとめ

協会が実施する事業（公益事業、独自事業、委託事業など）を推進するにあたって必要な実務作業を行い、事業の円滑化を図ると共に行政・関係機関・団体等との連携及び関係づくりにつとめました。

【公益法人事務局会議】

メンバー：小林、嶋本、嘉田、山本、森、池田、松原

参考資料／関連団体・各種委員会等

1. 四団体トップ会議

兵庫手話通訳問題研究会、県手話サークル連絡会、社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会と共に兵庫のあらゆる課題、問題等や今後の取り組み等を中心に意見交換を行った。

出席者：各団体の三役

場 所：兵聴協事務所分室

2. 三団体合同会議

兵庫手話通訳問題研究会、県手話サークル連絡会と共に役員の顔合わせを兼ね、各団体や委員会の取り組みなどの報告や意見交換を行った。

日 時：7月10日（月）午後6時半～7時半

場 所：神戸市立総合福祉センター

3. 各種大会、研修会への協力及び派遣

（1）第47回近畿ろうあ女性フォーラム

日 時 平成29年7月9日（日）10:00～16:00

場 所 神戸市勤労会館

参加者 142名

内 容 講演、分科会

（2）第67回近畿ろうあ者大会

日 程 平成29年10月1日（日）

場 所 三田市総合文化センター（郷の音ホール）

参加者 895名

内 容 パネルディスカッション「各市における手話言語条例の特徴及び今後の抱負」

コーディネーター：（公社）兵庫県聴覚障害者協会副理事長 小林 泉

パネリスト：上田清（大和郡山市長）、富士谷英正（近江八幡市長）

森井均（和歌山市副市長）、森哲男（三田市長）

安田正義（加東市長）、泉房穂（明石市長・全国手話言語市区長会事務局長）

聞こえない当事者議員からのメッセージ

佐藤太信（埼玉県戸田市議会議員）、斉藤りえ（東京都北区議会議員）

やねたに敦子（兵庫県明石市議会議員）

（3）第38回近畿ろうあ高齢者大会・第7回近畿ろうあ高齢者スポーツ大会

日 時 平成29年9月2日（土）～3日（日）

場 所 しあわせの村

参 加 152名

内 容：「これからの人生を考えよう！施設見学を通して感じたこと」

講 師：廣田しづえ（大阪ろうあ会館）

（４）兵庫県関係

- ・兵庫県くすの木学級運営委員会への協力（兵庫県教育委員会）年２回（神戸）【本郷】

（５）近畿ろうあ連盟及び近畿の行事への協力と代表派遣

- ・第３４回近畿手話通訳問題研究討論集会（京都）平成２９年１２月９～１０日
【嘉田・岩本・橋詰・中村】
- ・第６回近畿ろうあ者福祉・労働フォーラム in 大阪 平成２９年９月２日【小林】
- ・第３８回近畿ろうあ高齢者大会（兵庫）平成２９年９月２日【本郷・嘉田】
- ・第２７回近畿ろう教育フォーラム（和歌山）平成３０年２月３日【古・嘉田】
- ・第２３回近畿けいわんフォーラム（滋賀）平成２９年１１月３日【嘉田】
- ・第２８回近畿手話サークルフォーラム（大阪）平成３０年３月２５日【嘉田】
- ・第３２回近畿ろうあ者将棋大会（和歌山）平成２９年７月３０日【仲井・嘉田】
- ・２０１７年度近畿ろうあ連盟幹部研修会（和歌山）平成３０年１月２７日～２８日
- ・近畿ろうあ連盟評議員会（和歌山）平成３０年１月２８日
【本郷、嘉田、山本紋、古、足立、岩本】
- ・第１回近畿ろうあ連盟代表者協議会（大阪）平成２９年４月２９日
【本郷、小林、嶋本、山本、嘉田】
- ・第２回近畿ろうあ連盟代表者協議会（和歌山）平成３０年１月２７日
【本郷、嶋本、山本紋、嘉田】
- ・近畿地区専従職員研修会（京都）平成２９年８月３１日～９月１日【山本、嘉田】
- ・第１回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（大阪）平成２９年５月１３日【嘉田】
- ・第２回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（大阪）平成２９年７月８日【嘉田】
- ・第３回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（滋賀）平成２９年１１月３日【嘉田】
- ・第４回三団体会議（大阪）平成３０年３月２５日【嘉田】

（６）全日本ろうあ連盟、全国ろうあ者大会への協力と代表派遣

- ・第５回（通算第６８回）一般財団法人全日本ろうあ連盟評議員会（福岡）
【本郷、小林、嶋本、嘉田、山本、岩本、足立、古】
- ・第６５回全国ろうあ者大会（福岡）平成２９年６月１日～４日
- ・第４４回近畿ろうあ者体育大会（京都）平成２９年６月１７～１８日【木戸、古、嘉田】
- ・第６７回近畿ろうあ者大会（兵庫）平成２９年１０月１日 【理事】
- ・全通研サマーフォーラム（広島）平成２９年８月１８日～２０日【小林、嶋本、山本、橋詰、嘉田】
- ・第５１回全国ろうあ者体育大会（静岡）平成２９年９月２２日～２４日【木戸】
- ・全国ろう教育担当者会議（山形）平成２９年８月６日 【古】
- ・第２８回ろう教育を考える全国討論集会（山形）平成２９年８月５日～８月６日【小林・古】
- ・第３１回全国ろうあ者相談員研修会・第２２回全国職業安定所手話協力員兼ろうあ者労働問題フォーラム in 東京
【小林・岩本】

４．各種委員会

(1) 聴覚障害者センター支援委員会

ア. 会議日程：第2水曜日 18時30分～20時30分

4月12日、5月17日、6月20日、8月21日、12月20日、2月21日、3月17日

イ. 場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

ウ. 構成団体：兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県難聴者福祉協会・兵庫盲ろう者友の会
神戸ろうあ協会・神戸市難聴者協会・兵庫県手話サークル連絡会
兵庫県要約筆記サークル連絡会・兵庫手話通訳問題研究会
神戸市手話サークル連絡会・要約筆記こうべ

エ. 活動内容

- ・平成30年度に向けた要望書を各団体から意見を出し合い作成、県・神戸市に提出した。
- ・センター事業の理解を深めるための学習（相談事業）を行った。

(2) 聴覚障害者制度改革推進兵庫本部

ア. 活動方針

障害者権利条約に基づく国内法の整備・新法制定にあたり、情報・コミュニケーションが社会参加の権利として保障されることをめざす聴覚障害者制度改革推進中央本部の取り組みと一体し、地域の聴覚障害者の暮らしの向上という共通目標を持って、構成団体が連帯して活動を進める。

イ. 構成団体・委員

- ・兵聴協（嶋本・山本） 県難聴（宇佐川） 神戸市難聴（澤田）
- ・盲ろう者友の会（福田） 県サ連（苗村・平塚） 兵通研（谷口・平松）
- ・県要連（上野）

ウ. 活動内容

1. 事務局会議 会場：兵庫県聴覚障害者協会事務所
第1回 3月20日 最新情勢、各団体情報交換
2. We Love コミュニケーション パンプ および イエローリボン型リフレクターキーチェーン 販売普及活動
3. 最新情勢、各団体情報交換

(3) ひょうご聴障ネット

ア. 目的

兵庫県下の聴覚障害者関連福祉事業への支援を行うとともに、聴覚障害者福祉の向上と聴覚障害者に対する社会的啓発に努める。聴覚障害者関連福祉事業の安定した運営を図るには具体的な支援の取り組みが必要になるため、「聴覚障害者の『完全参加と平等』の実現をめざす会」と「ひょうご高齢聴覚障害者施設建設委員会」の活動をひきつぐ団体として設立された。

イ. 平成29年度の活動

（主催事業・行事）

- ・総会・活動報告会・聴覚障害者の社会参加を守るためのアピールパレード 5月14日(日)
- ・夏の学習会「すべての人が誇りを持って生きられる社会に！」
社会福祉法人プロップ・ステーション理事長 竹中ナミ氏 8月6日(日)
- ・兵庫県聴覚障害者文化祭 9月23日(土・祝)
- ・手話カフェ 毎月第3水曜日、神戸市灘区水道筋商店街「café P/S」にて営業
(2018年1月より運営を社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会へ移行)
- ・年4回「ひょうご聴障ネットニュース」発行

- ・各地域へのオルグ活動
- ・役員会 毎月第3木曜日
- ・事務局会議 毎月第2、4木曜日
- ・2018年ふくろうカレンダーの作成、販売
- ・兵庫県議会訪問 9月22日(金) 兵聴協・盲ろう者友の会と共に各会派を訪問
(協力事業・行事)
- ・第25回障害者の明日を語り合うつどい 7月30日(日)
- ・兵庫障害者連絡協議会連続講座
 - 第1回「障害は迷惑じゃない」 10月22日(日)
 - 第2回「CAFE RESTAURANT ほのぼの屋の挑戦～福祉からの脱却をめざして～」
12月2日(土)
 - 第3回「教室が足りない！先生が足りない！なぜ？～障害のある人の豊かな教育を求めて～」
3月18日(日)
- ・災害と障害者のつどい 2018年1月28日(日)

〈支援金〉

- ・たつのころうあハウス
聴覚障害児を対象とした「集団作り」と「学習進路相談室」(660,000円)
- ・兵庫盲ろう者友の会
盲ろう者・難聴者の情報保障確保事業(409,000円)

〈会員・資産〉

- ・平成30年3月15日現在 会員数407人・88団体
(内訳：マンスリー/69、個人/332、特別/6 団体/88)
- ・平成29年2月27日現在 資産残高25,589,671円

〈兵聴協との関わり〉

- ・兵聴協から代表委員1名・事務局次長1名・委員2名を派遣。その他学習会などで協力。
- ・「ろうあ兵庫」で毎月ひょうご聴障ネットの活動を会員に報告、PRを行った。

(4) 兵庫のろう教育を語り合う会

ア. 定例会議：第一木曜日開催 兵聴協分室・神戸市立総合福祉センター 19:30～

イ. 主な活動

- ・第19回ろう教育フォーラム in 兵庫
 - 日時 平成29年7月2日(土) 13:30～16:00
 - 場所 伊丹市立障害者福祉センター(アイ愛センター)
 - 参加者 67名
 - 内容 講演「京都聴覚障害児放課後等デイサービス『にじ』と聴覚に障害のある赤ちゃん和孩子・ご家族のつどいの場『にじっこ』について」
 - 講師 加藤 貴雄氏(京都聴覚障害児放課後等デイサービス『にじ』管理者)
- ・第21回ろう教育学習会 <兵庫県ろうあ者社会生活教室>
 - 日時 平成30年2月10日(土・祝) 13:30～16:00
 - 場所 兵庫県立のじぎく会館
 - 参加者 84名
 - 内容 講演「人工内耳装着者が語るメリットとデメリットについて」
 - 講師 安尾 麻生氏(高砂ろうあ協会)、岩林 雅子氏(稲美町ろうあ協会)

ウ. 機関紙掲載

「ろうあ兵庫」「ひょう通研ニュース」「県サ連だより」に活動内容の報告やろう教育の情報などを掲載。

エ. 県下、県外でのその他の活動

- ・全国ろう教育担当者会議（平成29年8月24～27日）
- ・県立神戸聴覚特別支援学校高等部卒業式（平成30年2月26日）
- ・県立こばと聴覚特別支援学校卒業式（平成29年3月23日）
- ・第27回近畿ろう教育フォーラム in 和歌山（平成30年2月3日）

オ. 総括

平成29年度の活動として、第19回ろう教育フォーラム in 兵庫（伊丹市）と第21回ろう教育学習会（神戸市）を開催した。社会情勢を参考に、放課後等デイサービスについて学び、また、人工内耳については装着当事者の話からメリットとデメリットを聞くことができた。ろう教育学習会は、放課後デイサービスに取り組んでいるところがまだ少ないことや、人工内耳に対して情報に手話の必要性を提供する場がまだ少なく、当会としても引き続き考えていきたいテーマである。今後のろう子ども企画案としてキッザニア甲子園を一般訪問した。実際に聞こえない子供を連れて行き、一般の子供と一緒に体験させてみた結果、いくつもの問題点が明らかになり、今後の検討事項となった。他に手話言語条例制定後の教育面も手話を取り入れた取り組みがなく、課題となっている。これからも聞こえない子供たちがのびのびと生きていける社会をめざして、学習を深めていきたい。

カ. 今後の方針

学習会やフォーラムを開催する中で見えてきた課題について解決策を検討していきたい。また開催マニュアルを積み重ね、全員が運営を理解した上で取り組めるように進める。

また、今後も聴覚特別支援学校や難聴学級を実施している一般学校の連携を図りながら、教育環境や子ども、保護者の置かれた状況に柔軟に対応していけるよう努めていきたい。学校側の企画にも積極的に協力し、学校側にも当協会の企画への参加を促進するなど、更なる連携強化を図っていきたい。

- ・「第20回ろう教育フォーラム in 兵庫」と「第22回ろう教育学習会」への取り組み
- ・聴覚障害児を持つ保護者や教員との交流や情報提供、ネットワーク作り（相談、訪問、交流など）
- ・県下聴覚特別支援学校や行政関係（県・市教育委員会）との連携

（5）手話通訳制度化推進委員会

ア. 定例委員会

毎月第4金曜日 第360回～第371回 19:00～21:00

場所：神戸市立総合福祉センター

イ. 構成委員： 計11名

（公社）兵庫県聴覚障害者協会（1名） （特非）神戸ろうあ協会（1名）

兵庫手話サークル連絡会（2名） 兵庫手話通訳問題研究会（4名）

神戸市手話サークル連絡会（2名） 兵庫県立神戸聴覚特別支援学校（1名）

ウ. 活動内容

- ・第23回“なるほどザ制度化”学習会開催

日時：平成30年2月12日（日） 13:30～16:45

場所：神戸市立総合福祉センター

内容：手話通訳制度を考える

テーマ：神戸市の区通訳をみんなで考えよう

参加者：32名（ろう者10名・健聴者12名・委員10名）

エ. “豊かな人生を送るために” 聴覚特別支援学校向けパンフレット配布

- ・2月に神戸及び姫路聴覚特別支援学校の高等部3年生を対象に学校訪問
- ・生徒に制度化委員会作成のDVDを見てもらい、解説説明及び設置通訳・派遣通訳について説明する

オ. その他

- ・オルグ
- ・手話言語条例施行後の施策
- ・近畿手話通訳問題研究討論集会「手話通訳制度」の司会者・共同研究者派遣 など
- ・運営のための助成金について

カ. その他

兵庫県のいずれの地域に住んでいても一定のレベル以上の手話通訳保障が得られるよう、県内の手話通訳制度の確立とより良い手話通訳制度に向けて活動を行っている。

昨年に引き続き、意思疎通支援事業実態調査から見える問題課題について取り組んだ。その数字に反映されない隠れた部分にも目を向け、条例の理念・法律を基盤に制度・運営を考える必要があると考え、今年度のなるほど学習会は神戸で開催した。

また、手話言語条例が効果的に推進できるような取り組みが必要であると考えているが、話し合う時間が足りなかったため、次年度も取り組んでいきたい。

(6) 兵庫手話健康対策委員会

ア. 定例会議：毎月第2月曜日 19:00~21:00 神戸市立総合福祉センター、兵聴協分室
4/10(月)・5/8(月)・6/12(月)・7/10(月)・8/24(月)・10/2(月)・11/13(月)
12/11(月)・1/8(月)・2/5(月)・3/12(月)

イ. 構成委員：(兵聴協) 仲井・木戸・中村泰
(県サ連) 苗村・江木・山田
(兵通研) 秦野・栗林・丸山

ウ. 活動内容

- ・7/10(月) 三団体合同会議（制度化・災害対策・手話健康対策など各委員会報告）
参加者29名（兵聴協8 県サ連10 兵通研11）

場所：神戸市立総合福祉センター

- ・10/8(日) 手話健康対策委員会学習会 ～健康な食生活を送ろう！～
テーマ：「食生活の改善で健康な身体」 参加者41名（ろう者20名 聴者21名）
講師：公益社団法人兵庫県栄養士会 地域活動理事 上野 樹世氏
場所：神戸市立総合福祉センター

- ・兵庫県立聴覚障害者情報センター主催 けいわん検診の協力（受付、アンケートの実施）
神戸会場 兵庫県立聴覚障害者情報センター : 8/29(火) 受診 37名（アンケート37名）
9/ 5(火) 受診 31名（アンケート30名）
高砂会場 高砂市ユーアイ福祉交流センター : 9/21(木) 受診 42名（アンケート35名）
西宮会場 西宮市総合福祉センター : 9/ 7(木) 受診 18名（アンケート18名）
- ・平成29年度 職場アンケートの実施と結果活用

実施期間：平成29年8月28日～9月29日

対 象 者：兵庫県聴覚障害者協会およびろうあ協会の関係団体職員

配 布 先：19 事業所 200人（回収数：115人）⇒ 集計結果は各事業所に報告

- ・12/9（土）10（日）第34回近畿手話通訳問題研究討論集会

第8分科会共同研究者参加（中村泰輔）

場所：京都府中小企業会館

- ・2/10（土）職場のストレスチェック報告学習会 兵庫健康対策委員会主催

職場ストレスチェックとは何か、集計結果報告

場所：神戸市立総合福祉センター

エ. 啓発事業

- ・オルグ学習会：12/3（日）場所：和歌山市ふれあいセンター
- ・ろうあ兵庫、県サ連だより、兵通研ニュースに「けいわんニュース」を掲載
- ・学習会、けいわん検診など行事で「STOP・ザ・けいわんパートⅡ」「身体ストレッチ」の冊子紹介

オ. 総括と課題

オリエンテーション三団体合同会議では、今までの三委員会以外の各委員会取り組みや課題などの報告があり、活動を知る良い機会となった。今後も継続開催していきたい。

健康対策委員会学習会「食生活の改善で健康な身体」参加者から自分の食生活を見つめることができた。グループで食事を考えるのが楽しかったという意見を沢山もらった。今後も参加者に楽しんでもらえる企画を考えたい。

職場ストレス度チェックについて、結果の活用についての学習会を開催した。今後も継続して結果の活用法について検討していく必要があると考えている。

今年度はサークルオルグPRで和歌山に出向いた。今後も力を入れたいと考える。

（7）災害対策委員会

ア. 定例委員会：4/10・5/9・7/10・11/21・12/12・2/6

イ. 構成委員：（兵聴協）嘉田 （県サ連）今井、吉村 （兵通研）竹原、鞍富

ウ. 検討事項

- ・災害対策委員会の活動内容について
- ・兵庫県合同防災訓練について
- ・『ろうあ兵庫』掲載内容について
- ・防災学習会開催について

エ. 活動内容

- ・オリエンテーション （7/10）神戸市総合福祉センター
制度化委員会／けいわん対策委員会／災害対策委員会他
- ・兵庫県聴覚障害者文化祭 （9/23）兵庫県立聴覚障害者情報センター 防災グッズ展示
- ・災害時要援護者のためのサポートミーティング（11/15）参加 神戸ラッセホール
- ・兵庫安全の日（1/17）HAT 神戸内なぎさ公園
- ・情報センター災害学習会（2/24）の要員協力

オ. 啓発事業

- ・ろうあ兵庫に「災害対策委員会ニュース」を掲載
- ・聴覚障害者文化祭にて防災に関する避難グッズ、パンフレットを展示

カ. 総括

震災を知らない世代が増えているので語り伝える必要がある。

各地の防災の取り組みや活動が少なくっている。阪神・大震災の時に聴覚障害者が困った問題、課題が出たが今も問題が多く残っているので今後も啓発や学習会を続けていく。

(8) 聴覚障害者の医療を考える会

ア. 聴覚障害者の医療を考える(“いのち”を考える会)

- ・ 5/25 (木) 第 165 回「本当に苦しい花粉症」
～なっている人、なるかもしれない人に対策を教えます～
講師：丸山 普 医師 参加者 31 名 (聴覚障害者 11 名)
- ・ 7/27 (木) 第 166 回「健康診断」～検査結果の見方を教えます～
講師：武村 義人 医師 参加者 36 名 (聴覚障害者 14 名)
- ・ 9/28 (木) 第 167 回「きちんとリハビリすれば楽になる」～その 1、膝の痛み～
講師：武村 義人 医師 参加者 30 名 (聴覚障害者 11 名)
- ・ 11/19 (木) 第 168 回「健康診断・検査結果の見方について」
～第 15 回出前 “いのち” in 東播 (加古川)～
講師：三木 健史 医師 参加者 46 名 (聴覚障害者 19 名)
- ・ 3/22 (木) 第 169 回「肺炎球菌予防接種について」
講師：土屋 貴昭 医師 参加者 27 名 (聴覚障害者 9 名)

イ. 健康相談・血圧チェック・口腔衛生・お薬相談コーナー

- ・ 7/ 2 (日) 神戸聴覚特別支援学校同窓会総会
健康相談(5 名)・血圧チェック(20 名)・お薬相談(1 名)・リハビリ相談(1 名)
- ・ 9/23 (土) 第 13 回聴覚障害者文化祭
健康相談(14 名)・血圧チェック(60 名)・口腔衛生(10 名)・お薬相談(12 名)
- ・ 10/1 (日) 第 67 回近畿ろうあ者大会 in 三田
健康相談(8 名)・血圧チェック(53 名)・口腔衛生(5 名)・お薬相談(3 名)
- ・ 1/14 (日) 第 44 回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい in 高砂
健康相談(8 名)・血圧チェック(58 名)・お薬相談(2 名)・リハビリ相談(2 名)
- ・ 3/11 (日) 第 37 回神戸ろうあ協会 耳の日記念大会 in 北区
健康相談(4 名)・血圧チェック(40 名)・お薬相談(1 名)

ウ. 活動を振り返って

奇数月の開催を継続できた(出前“いのち”を含む年 5 回)。1987 年から、保険医協会の協力と兵聴協との連携により 31 年間継続できている。

今年度より、“いのち”を考える会の案内を県内各ろうあ協会へ FAX にて行った。その結果が参加者の人数として反映されているかどうかは定かではないが、来年度も継続したい。

神戸以外の地域で行う「出前“いのち”」は東播地域班の協力のもと、11/19(日)に加古川市で開催した。開催地域のろう者からの要望どおりのテーマで開催でき、「良かった」という感想を多くいただけた。参加者も多く質疑応答も活発に行われ、関心の高さがうかがえた。今後も参加者の要望を受けとめながらテーマを決定していきたい。

エ. 啓発事業

- ・ 31 年間継続開催の実績を絶やさず、今後も実施していく。
- ・ 県下各ろう協、サークル、兵通研地域班と協働し「出前いのち」の年 1 回の開催を継続する。
- ・ “いのち”を考える会は、3 つの団体(兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県保険医協会・兵庫手話通訳問題研究会)で協力して継続できているので、今後も、兵庫県聴覚障害者協会の企画・運営の積極的な関わりを期待し、共に活動していく。

(9) 労働連絡会

ア. 委員：当法人理事、支援団体の専任通訳者手話協力員、障害者支援専門員、障害者職業相談員

イ. 会議日程：4月1日(土)・7月1日(土)・2月24日(土)

ウ. 参加人数：10名～12名

エ. 場 所：神戸市

オ. 内 容：聴覚障害者を取りまく就労問題について情報を交換
就労問題の解決に向けて労働環境を整備
手話協力員の配置日及び時間体制の情報公開の実施

(10) 手話研究プロジェクト

「兵庫の地名や建物などの手話創作（表現）」を研究及び創作する。

ア. 会議日時：平成28年11月12日、1月7日、3月19日

イ. 構成委員：今泉友幸（猪名川）、末吉正朋（伊丹）、福島恵子（稲美）、辻井秀樹（小野）
村上里美（姫路）、檀上千恵（西宮）、小川知子（神戸）嘉田眞典（理事、神戸）

ウ. 会議場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

エ. 平成28年度活動について、淡路地域の収録作業を中心に進め、淡路の地名手話を収録しました。

【参考資料】

1. 聴覚障害者事業所連絡会

県内の聴覚障害者事業所関係者が集い、それぞれの事業所の現状や情報交換や意見交換を行いました。また、事業所利用者、職員の交流促進、事業所職員に実践的な知識を習得するための研修会の参加を促し、開催にあたり協力をいただきました。またレポート発表も行ないました。

(1) 全体会議

- ・日 時：平成29年6月20日（火）
- ・場 所：共同作業所 神戸ろうあハウス
- ・出席者：5名（たつのこ、神戸ろうあハウス、おのころ、はりま、にしのみや）
- ・報告内容：研修会について、各事業所からの課題について、その他

(2) 職員研修

- ・日 時：平成29年11月26日（土）～27日（日）
- ・場 所：埼玉県県民活動総合センター（埼玉県）
- ・内 容：第21回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会 in 埼玉